

### 第3節 小学校5年生、中学校2年生の保護者への調査

#### 1 基礎データ

回答者数

		男性	女性	合計
小学校	H11			461
	H23	145	1,076	1,221
中学校	H11			487
	H23	172	1,079	1,251

回答者続柄(H23のみ)

		父	母	祖父	祖母	その他・不明
小学校	人	142	1,061	3	11	4
	%	11.6	86.9	0.2	0.9	0.3
中学校	人	165	1,072	6	6	2
	%	13.2	85.7	0.5	0.5	0.2

回答者年代

			20代	30代	40代	50代	60代	その他・不明
小学校	H11	人	0	212	240	6	3	0
		%	0	46.0	52.1	1.3	0.7	0
	H23	人	4	563	596	48	5	5
		%	0.3	46.1	48.8	3.9	0.4	0.4
中学校	H11	人	1	116	354	14	2	0
		%	0.2	23.8	72.7	2.9	0.4	0
	H23	人	0	276	852	110	7	6
		%	0	22.1	68.1	8.8	0.6	0.5

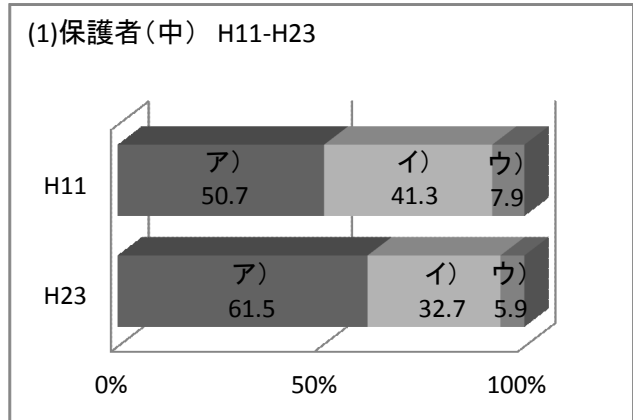
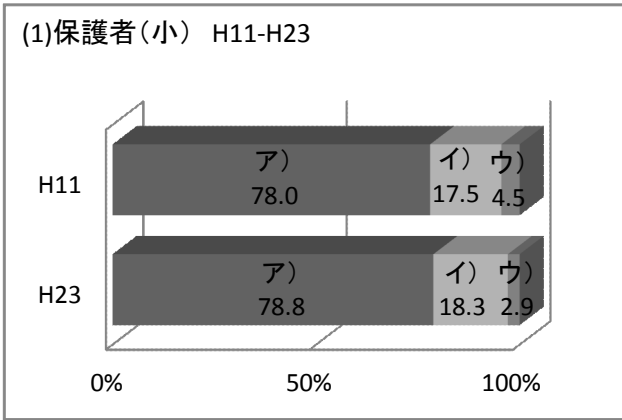
調査対象校

平成11年度 小学校 15校 中学校 15校 (資料編 p2 参照)  
 平成23年度 小学校 51校 中学校 46校 (資料編 p3 参照)

## 2 地域行事・活動について

(1)あなたは、あなたのお子さんが地域行事・活動に参加していると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

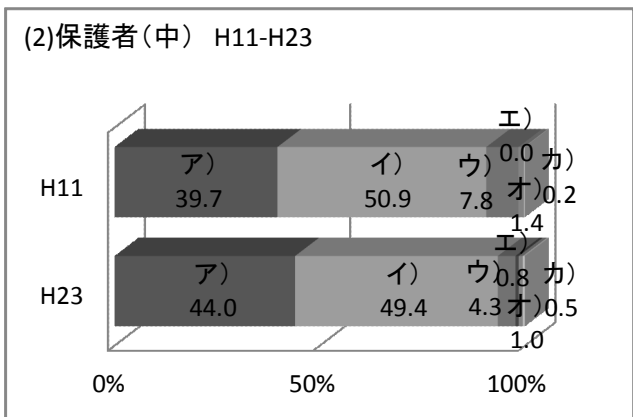
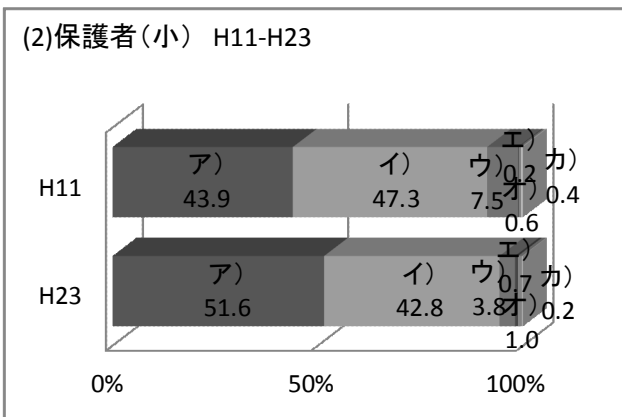
ア)参加していると思う    イ)参加していないと思う    ウ)わからない



中学生の保護者(以下この節では保護者省略)では、「参加していないと思う」が8.6ポイント減少しているが、小学生では、わずか0.8ポイントながら増加している。

(2)あなたは、あなたのお子さんが地域行事・活動に参加することについてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

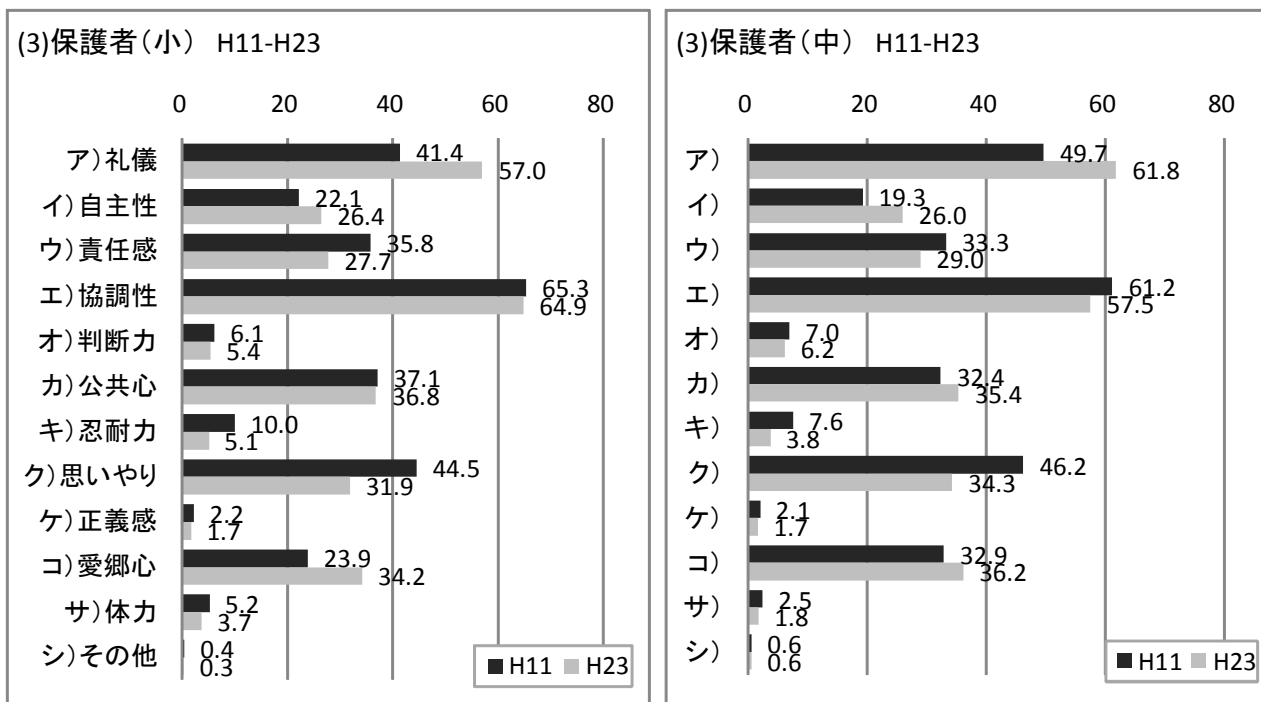
ア)大変よいことだと思う    イ)よいことだと思う    ウ)どちらとも言えない    エ)参加を勧めたくない  
オ)わからない    カ)その他



「参加を勧めたくない」は、いずれの対象でも1%未満となっている。「大変よいことだと思う」は、小学生・中学生とも増加している。

(3)子どもたちが地域活動・行事に参加して身につくと思う事柄について3つ選んでください。

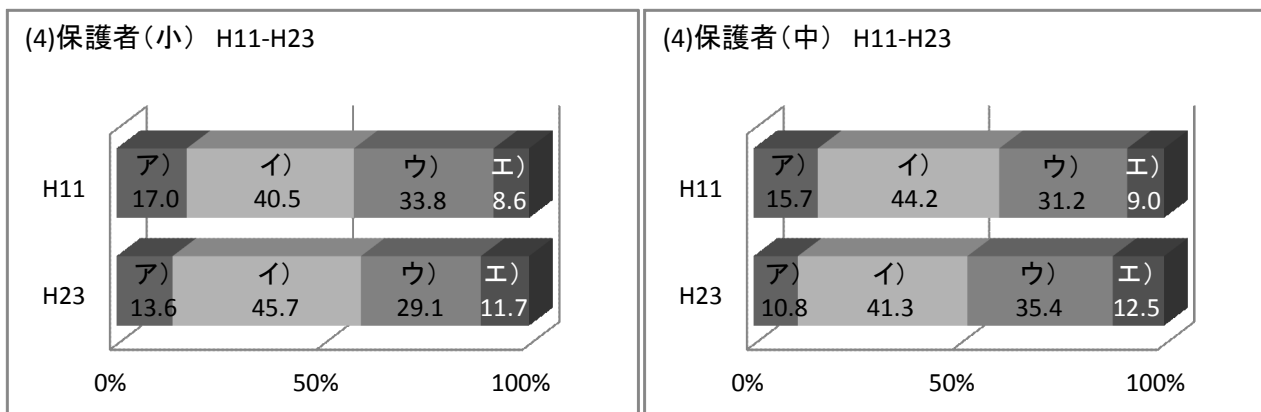
- ア)礼儀    イ)自主性    ウ)責任感    エ)協調性    オ)判断力    カ)公共心  
 キ)忍耐力    ク)思いやりの心    ケ)正義感    コ)愛郷心    サ)体力    シ)その他



前回の調査では、小学生・中学生とも、「協調性」「礼儀」「思いやり」の3項目が上位であったが、今回の調査は、小学生では「公共心」、中学生では「愛郷心」が3位に入っている。また、小学生・中学生とも、「礼儀」が、10ポイント以上増加している。

(4)あなたご自身は、地域の行事や活動に参加したことがありますか。一つ選んでください。

- ア)いつも参加している    イ)時々参加している    ウ)たまに参加している    エ)参加したことがない



「いつも参加している」が小学生では、3.4ポイント、中学生では4.9ポイント減少し、「参加したことがない」が小学生では3.1ポイント、中学生では3.5ポイント増加している。

(5)前問(4)で、ア イ ウと答えた方(地域行事・活動に参加したことがある方)だけお答えください。

①あなたが参加されたのはどのような内容の行事や活動でしたか。次の中からいくつでも選んでください。

ア)ふるさとの史跡や文化を調べる見学や活動      イ)科学教室・ものづくり教室

ウ)ふるさとの自然や環境について学ぶ会      エ)花壇づくりなどの美化活動      オ)クリーンアップ活動

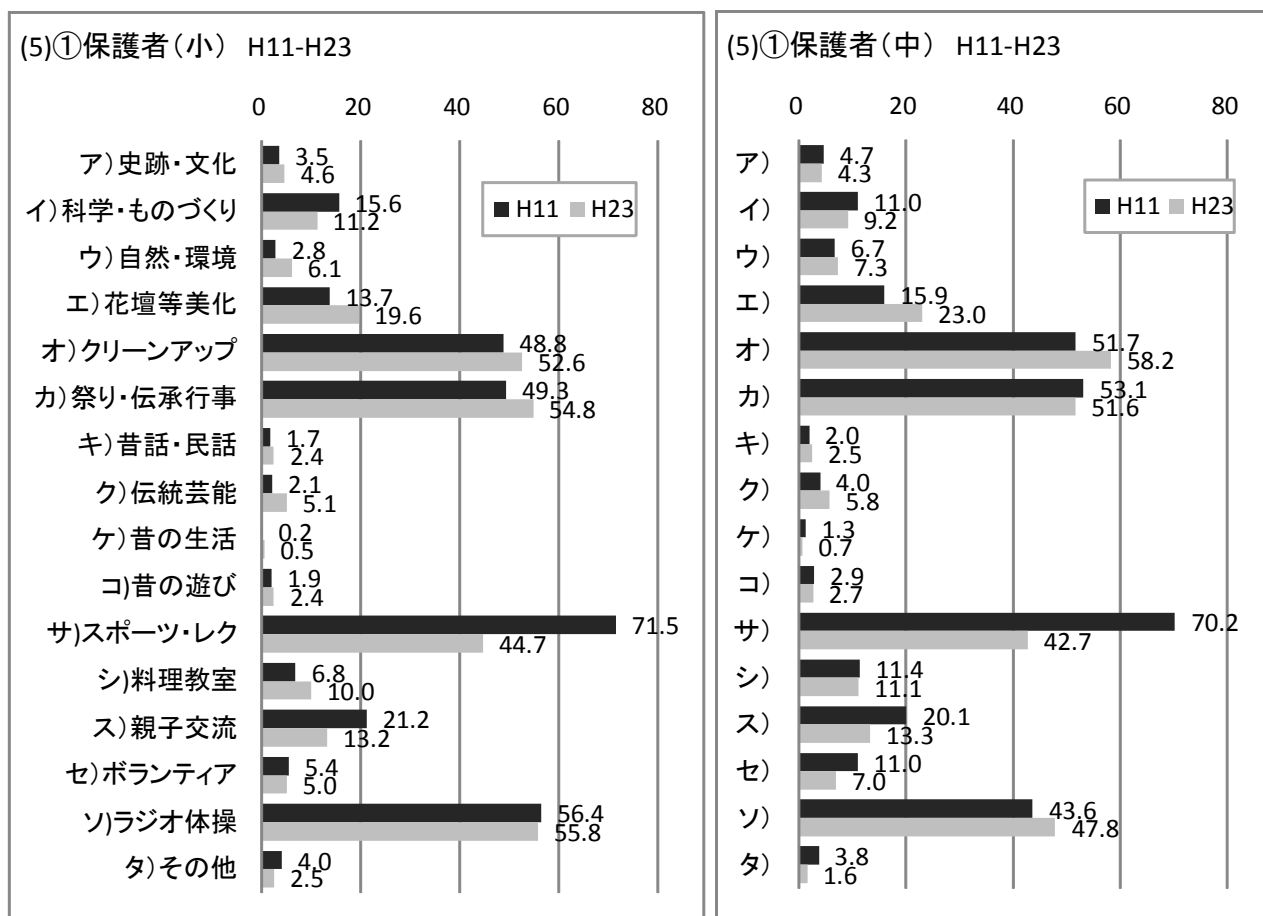
カ)祭りや古くから伝わる行事      キ)昔話・民話などを聞く会      ク)古くから伝わる芸能などの練習

ケ)昔の生活を知る会      コ)昔の遊びを体験する会

サ)スポーツレクリエーション(キャンプ・盆踊りを含む)      シ)手作り料理教室

ス)親子座談会・親と子のつどい      セ)福祉施設などでのボランティア活動      ソ)朝のラジオ体操

タ)その他

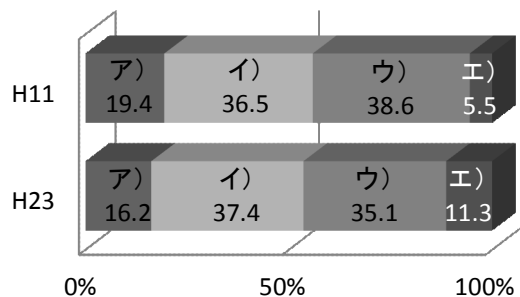


小学生・中学生とも、「クリーンアップ」「祭り・伝承行事」「スポーツ・レク」「ラジオ体操」が上位4項目で変化はないが、前回の調査では70%以上あった「スポーツ・レク」という回答が、それぞれ20ポイント以上減少している。小学生・中学生とも、「親子交流」が減少し、「花壇等美化」「クリーンアップ」が増加している。

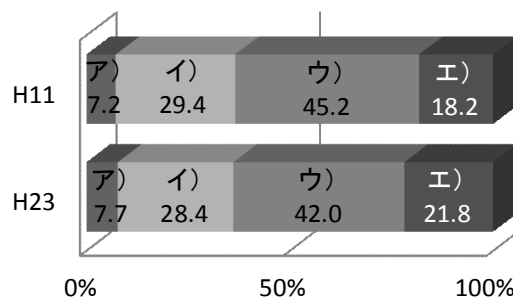
②あなたはお子さんと一緒に地域活動や行事に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。

ア)いつも参加している イ)時々参加している ウ)たまに参加している エ)参加したことはない

(5)②保護者(小) H11-H23



(5)②保護者(中) H11-H23



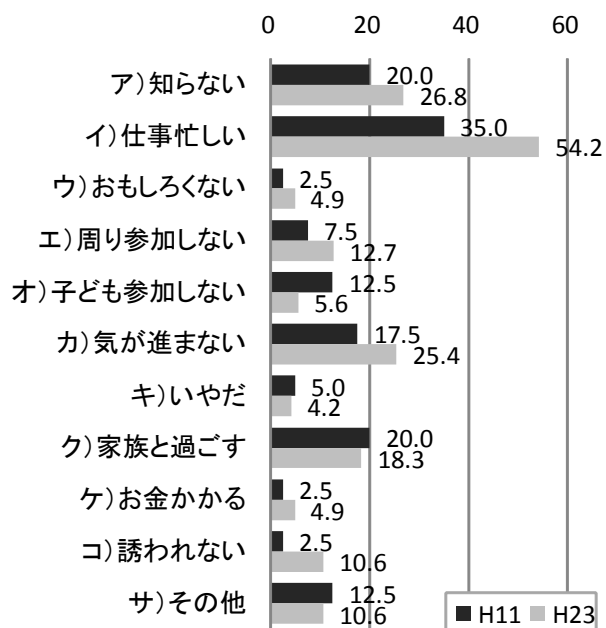
小学生と中学生を比較すると、いずれの階層でも小学生の方が参加している割合が大きい。「参加したことはない」は、小学生では5.8ポイント、中学生では3.6ポイント増加している。

(6)前問(4)で、エ)と答えた方(地域行事・活動に参加したことがない方)だけお答えください。

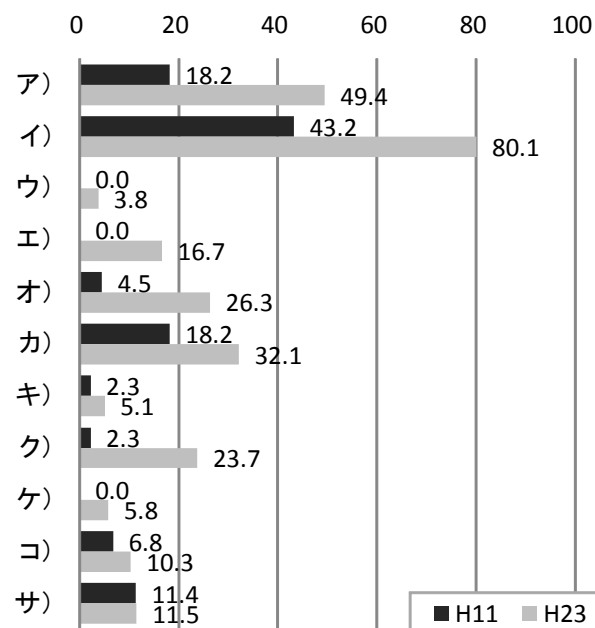
あなたが地域行事・活動に参加されなかった理由は何ですか。その理由をすべて選んでください。

ア)知らなかったから イ)仕事が忙しいから ウ)おもしろくないから  
 エ)周りの人が参加しないから オ)子どもが参加しないから カ)気が進まないから  
 キ)参加するのがいやだから ク)家族と過ごすから ケ)お金がかかるから  
 コ)誰からも誘われないから サ)その他

(6)保護者(小) H11-H23



(6)保護者(中) H11-H23



小学生では、「仕事忙しい」がトップで、前回調査に比べても、19.2ポイント上昇している。中学生でも、「仕事忙しい」がトップで、43.2%から80.1%と36.9ポイントも上昇している。また、中学生では、「知らない」「子ども参加しない」「家族と過ごす」も20ポイント以上増加している。

- ◆市町村教育委員会用調査『(7)保護者用「あなたとあなたの住んでいる地域との関わり方について」(1)～(6)の結果について、感想・意見・分析・今後の方針等をご自由にお書きください。』の回答から

No	市町村名	内 容
1	鹿角市	保護者の地域行事への参加は全体的に高く、クリーンアップ、スポーツレクなどへの参加が多いが、昔話・民話、伝統芸能、昔遊びなど鹿角の地域素材を生かした行事への参加が望まれる。
2	小坂町	保護者が参加していると子どもも参加している傾向である。特に自治会単位のクリーンアップや祭りなどへの参加率が高い。が学習的な教室・座談会、ボランティア活動への参加は少ない。個々で参加するのは苦手？他の団体との共催事業、子ども会への出前講座など考えながら、保護者自身にも地域や町づくりの視点をもってほしい。
3	大館市	児童のアンケートと同じく、行事そのものも知らなかった人の割合が多くなっている。また、仕事や家族と過ごす時間を選択している割合が多くなっており、地域とのつながりより個々の生活を優先している状況が感じられた。
4	北秋田市	子どもと一緒に地域の行事や活動等に参加している保護者が多いことに対し、仕事のために参加していないという人もいるので、分析が必要。 子どもを地域の行事や活動に参加させたいと考える保護者が多いことから、親子で参加できる活動や地域の大人が率先して取り組む事業の実施が必要だと思う。 伝承芸能に関しても、継承する大人も減少する傾向で、地域の子どもたちに伝承を期待するほか、学校の活動のなかに取り入れているところも増えている。
5	上小阿仁村	大半は地域行事へ参加することに理解を示している。しかし、中学生の保護者の一部には、地域活動への参加について、是非がわからなくなるケースも見受けられる。
6	能代市	保護者側が、子どもたちに社会性を身につけさせたいと考えて地域活動に参加させていることがわかった。
7	藤里町	ほとんどの保護者が地域行事・活動に参加していることがわかった。クリーンアップやラジオ体操は学校との関連で参加が多いように思う。
8	三種町	保護者の目線からは、子どもたちが地域行事等に参加することは、よいことだと思う方が9割を占めているが、実際の参加状況をみるとそれ程ではない。しかし、その子どもたちの参加率が悪いのも、保護者世代の参加率と比例しているように思う。 親子参加の事業や行事が増えると、参加率も改善されるのか疑問もあるが、

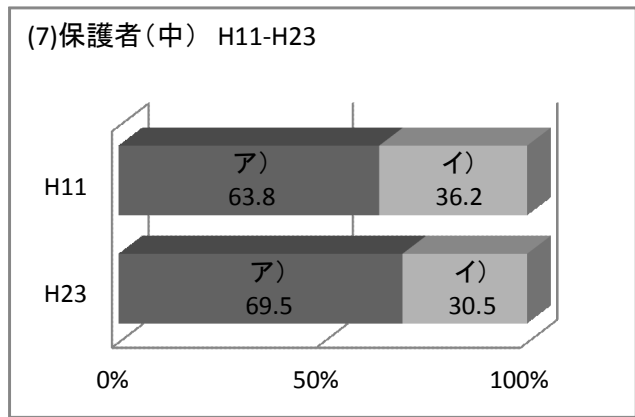
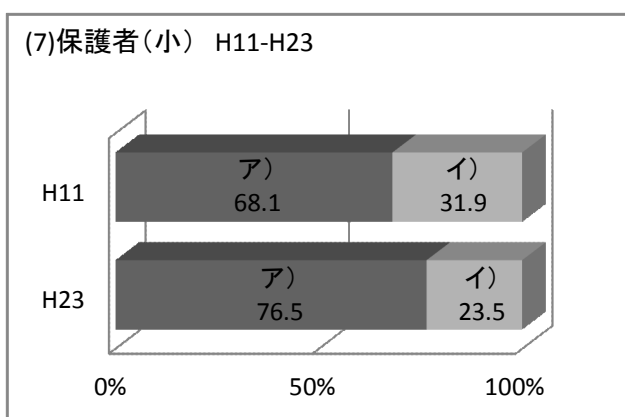
		意識の変化は求めなければならないかなと思われる。
10	秋田市	保護者も小中学生の地域活動の必要性や重要性を感じていると思う。 地域活動への参加についてもっと積極的に小中学生への声かけをするべきだと思う。
11	男鹿市	子どもの地域行事・活動について、よいことだと考えながらも、子どもが参加していない現状、保護者自身が地域活動に参加しなくなっている現状が見てとれる。また、保護者が地域活動に参加しない(したことがない)理由として、「知らない」というのが多数あるのが気になる。
13	五城目町	地域の行事や活動に参加することが、子どもたちにとって礼儀や協調性を身につけることなど、その意義をしっかりと受け止めている。ただ、自ら参加することに関しては、その頻度が高いとは言えず、親が積極的に参加することにより、子どもたちの意識も変わっていくものと考える。
14	八郎潟町	保護者は地域活動や行事へ子どもたちが参加することを望んでいるようだ。このような機会をできるだけ提供していきたい。
15	井川町	8割以上の子どもが地域行事・活動に参加しており、小学生92%・中学生88%の保護者が、子どもが地域活動に参加するのはよいことだと回答している。また、保護者自身96%が地域の行事に参加しており、それぞれの家庭が地域と多かれ少なかれ関わりをもっていることは、地域の環境、家庭の環境としてとてもいいことだと思う。
17	由利本荘市	保護者自身の地域行事への参加率が低くなっている。保護者の意識が将来を担う子どもの意識に影響を与えると思うので、学校を巻き込んで参加者を広げる地域行事、活動が必要かと思う。
18	にかほ市	小・中ともに地域での活動に児童を参加させることには大変理解があり、似通った回答が見られる。保護者自身の参加率は前回調査に比べるとどちらも減少しているが、小学生の親子での参加は若干増えている。親子参加型の体験事業を増やせば良いかと思う。
19	大仙市	保護者に関しては、前回調査と比較して児童・生徒ほど大きな変動は見られず、依然として地域行事・活動に子どもが参加することは「大変よい」「良い」が9割を越えるなどその活動や成果が認められていることが示されていた。 しかし、保護者自身が参加しているかを問う設問(5)の②においては、小・中学生の保護者が共に「全く参加していない」割合が増加傾向にあったことは、やはり背景として少子化により地域単位で行っていた事業が見直しや廃止されるなど、活動そのものが行われなくなってきた実態も挙げられるが、その理由を問う(6)の設問において「仕事が忙しいため」という理由が大幅に増加していることなどからも、今後は従来の休日などを主とした地域活動を見直し、平日の夜などわずかの時間でも参加できるようなチョボラ、チョコボラの事業も検討するなど、限られた時間で参画いただけるような内容での実施が必要とされてきているように思う。
20	仙北市	子どもが地域行事・活動への参加は当然良いことと思っているようだが、やはり親御さんは仕事に追われ忙しいことがわかる。小・中学生を持つ親は、仕事と

		子育てで忙しい毎日を送っているのに、この結果は致し方ないように感じるが、学校行事には率先して参加していると思われる。
21	美郷町	親子一緒に地域活動に参加している人が84%もいるが、内容が料理教室・親子交流は20%ほどである。参加することは良いことだと思う人が98%もいるため、アップにつながるようにしたい。
22	横手市	(1)～(5)については、全県とほぼ同じ結果である。(6)について、小・中学校の保護者とも「仕事が忙しい」「気が進まない」が全県平均より高い傾向にある。比較・分析を行うには、調査対象校が前回調査と同じ集計結果があれば、もっとよかったのではないか。
23	湯沢市	小・中学生の保護者となっている世代は、仕事が忙しく、地域行事への参加は「誘われなければ参加しない」など参加意識は低くなってきており、地域行事に参加する時間があれば、家族とゆっくり過ごしたいと考えている方が増加していることが伺える。
24	羽後町	子どもたちが地域行事・活動に参加していると思う割合はかなり高く、また、親の参加割合も高い。 地域行事等へ参加したことがないと答えた方で、知らなかったと答えた方が意外と多いので、地域との関わりが薄いのかと感じた。
25	東成瀬村	ほとんどの保護者は子どもたちが地域行事・活動に参加する大切さや意義を感じている。全員が子どもと一緒に地域活動に参加しており、そのため、子どもたちも地域との関わりに積極的になっている。

### 3 これからの地域行事・活動について

(7)あなたは、今後、子どもたちが参加する地域の行事や活動に率先して関わりたいと思いますか。1つ選んでください。

ア)思う イ)思わない

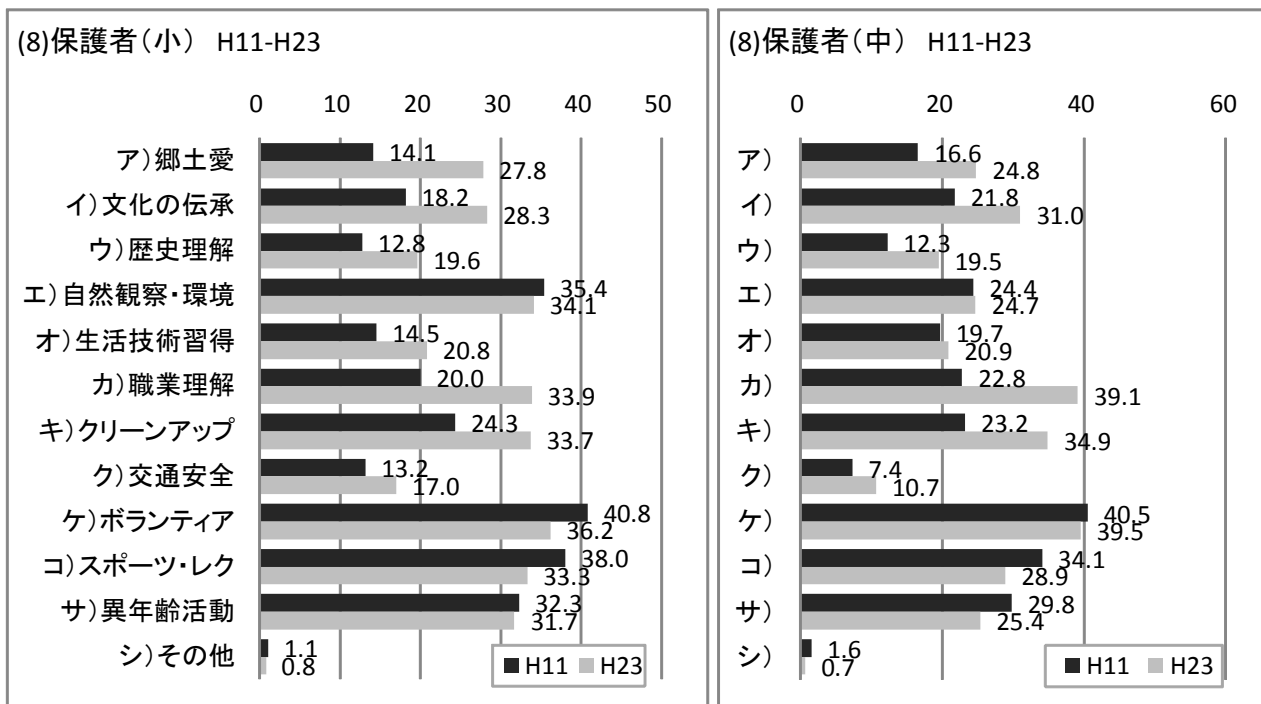


小学生では、「思う」が68.1%から76.5%に8.4ポイント増加し、中学生でも63.8%から69.5%に5.7ポイント増加している。



(8)あなたは、子どもたちのための地域活動として今後どのような内容を多くしたらよいと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

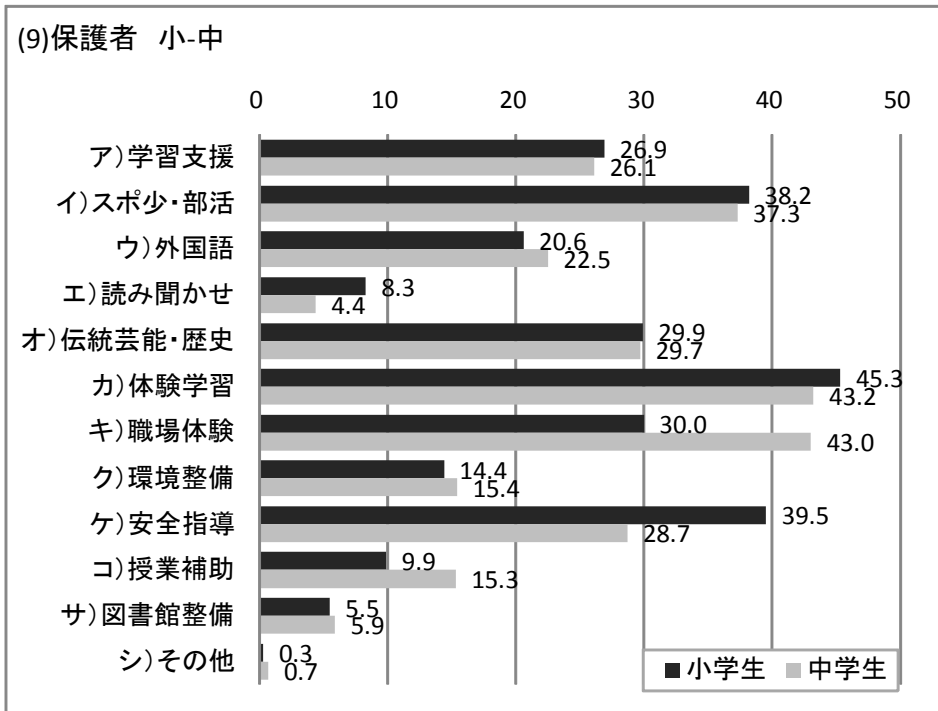
- ア)郷土愛を育てる活動    イ)地域文化の伝承に関する活動    ウ)地域の歴史を知る活動  
 エ)自然観察、環境に関する活動    オ)生活技術の習得に関する活動  
 カ)職業や仕事について知る活動    キ)地域のクリーンアップなどの活動    ク)交通安全に関する活動  
 ケ)ボランティア活動    コ)スポーツレクリエーション活動    サ)年齢の違う友だちとの活動  
 シ)その他



小学生・中学生とも、前回の調査では上位の3・4項目に回答が集まっていたが、今回の調査では回答が分散している。小学生では、前回調査の上位4項目がすべて減少し、「郷土愛」「文化の伝承」「職業理解」「クリーンアップ」といった項目が増加している。中学生では、特に「職業理解」が大きく増加している。

(9)あなたは、子どもの学校での教育について、地域の人たちにどのような手伝いをして欲しいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- ア)長期休業中などの学習支援    イ)スポ少・部活動などの指導    ウ)外国語活動の支援  
 エ)読み聞かせなど    オ)伝統芸能や郷土の歴史の伝承    カ)体験的な学習の支援  
 キ)職場体験の支援    ク)学校の花壇や環境の整備    ケ)登下校の安全指導  
 コ)学校の授業補助    サ)学校図書館の整備    シ)その他



小学生・中学生とも大まかな傾向は同様だが、両者の比較では、中学生は「職場体験」「授業補助」が多く、小学生は「安全指導」が多い。

◆市町村教育委員会用調査『(8)保護者用「これからの地域行事・活動」(7)～(9)の結果について、感想・意見・分析・今後の方針等をご自由にお書きください。』の回答から

No	市町村名	内 容
1	鹿角市	保護者の地域行事等への参加の理解度は高く、スポ少・部活、体験活動への要望が多いが、授業補助や図書館整備への要望が多く、学校支援地域本部事業の活用を図りたい。
2	小坂町	子どもたちのための地域活動についてはほとんどの項目が30%程度。 職業理解やクリーンアップ、ボランティアなど地域の一員としての役割を担う様な活動があってもいいのか、保護者を含めた活動、事業を検討したい。
3	大館市	公民館を利用したことがない人が増えた一方、子どもが参加する地域活動に関わりを持ちたい保護者の割合は減っていないことから、この保護者等を積極的に取り込んで、公民館の活動を支援していきたい。
4	北秋田市	地域の行事や活動に関わりを持たなくても良いと考える保護者が孤立しないよう、子どもと一緒に参加できるような活動を設定するなどの手立てが必要。少子化により、子育て期間が短縮される傾向もある一方、高齢化も進むなかで、地域の様々な場面でのボランティア活動に重点を置き、地域の人と「顔見知り」になることが大事になると思う。

		<p>伝承芸能をとおして子どもを育成することも大きな課題であり、体験活動とうまく結びつけるなど工夫したい。</p> <p>子どもの安全を第一に考えた活動の継続が必要とされている。</p>
5	上小阿仁村	<p>中学生の場合、保護者自身が地域活動へ係わることについては4割近くが関わりを拒否している現状である。</p> <p>高齢化が進んでいるため、地域の大半が高齢者であることの影響でもあると考えられるが、この点については今後の検討事項である。</p>
6	能代市	<p>全市的な傾向としては判断不能だが、小中学校どちらも体験学習への期待が大きい。</p> <p>小学生の保護者が、自然観察やボランティアよりも職業理解を望んでいる。また、前回調査と比較して生活技術習得の要望が多くなっている。これらの結果から、むしろ家庭教育支援として、地域の教育力を生かす取組の必要性を感じる。</p>
7	藤里町	<p>仕事をしている保護者が参加できる講座が少ない。地域の人の手伝いで伝統芸能・歴史についての回答が多かったが、少年教室での伝統芸能コースは地区の伝統芸能保護団体がすでに協力してくれているため、今後も継続していきたい。</p>
8	三種町	<p>地域行事・活動に参加したいと思う保護者が7割をしめている。意識レベルとしては高いと思う。また、望んでいる活動も多岐にわたっているが、自分が参加した場合は、どんな活動がしたいのか読み取れないため、設問の結果を生かせないと思う。</p> <p>結局は体験活動の情報は、子どもが仕入れてくるものより保護者から子どもへいく場合がほとんどだと思うため、活動に参加するにも保護者の希望一つで結果が変わるのではないかと思う。</p>
10	秋田市	<p>小中学生が地域活動に参加することはいいことだと思いつつも、自らは関わりたくないと思っている保護者がいる。</p>
11	男鹿市	<p>小学生の保護者は、文化の伝承・歴史理科の地域活動を望んでいるが、中学生の保護者は、クリーンアップ・ボランティアといった地域活動を望んでいた。</p>
13	五城目町	<p>地域の行事や活動に率先して関わりたいという意欲に応えられるよう、郷土愛の醸成や自然観察、異年齢活動などの事業の見直しを図りたい。</p>
14	八郎潟町	<p>保護者は、地域に関わる活動や行事に感心があるようだ。このような協力的な住民に協力いただきながら事業を展開できればいいと思う。</p>
15	井川町	<p>100%近い保護者が地域活動に参加しているが、小・20.8%、中・28%が今後、率先して関わりたいと思わないと回答している。4人～5人に1人は、あまり関わりたくないと思っているということである。また、中学生では、学習支援36%、授業補助を24%が地域の人に手伝って欲しいと項目として選んでいることにも注目した。</p>
17	由利本荘市	<p>保護者は学習支援、スポーツ指導、職場体験、安全指導等、地域の多くの人材を活用した意図思っている。地域の人材発掘と人材バンクの整備をし、誰でも活用できるようにする。</p>

18	にかほ市	<p>共働きが多いせい、どちらの保護者も忙しさで地域行事に参加できないとの回答が全県平均より多い。また、子どもの学校での教育について地域の人たちに、職場体験を手伝ってほしいとの声も全県より高い。全体的に雇用問題が深刻でこのような結果が得られたのでは。雇用に関する知識や希望を育むため、児童の社会勉強として職場体験を推進していくのは今後大変重要だと考える。</p>
19	大仙市	<p>今後も地域活動に率先して関わるかを問う設問(7)では、児童保護者は「関わりたいと思わない」方の割合が若干2.2ポイント上昇したものの、中学校生徒保護者に関しては前回調査時4割近い保護者が「関わりたいと思わない」という回答であったのに対し、今回は27.4%まで10ポイント以上減少したことから、地域活動への参画の必要性が徐々に浸透してきているように思われる。</p> <p>また、具体的にどのような内容が求められているかを問う設問(8)では、児童・生徒保護者共に「職業理解」、「クリーンアップ」に関する活動に対するニーズが大幅に増となり、反面、「スポーツ・レク」に関するニーズは小学校児童保護者で11.3%、中学校生徒保護者では22.8%も減少したことは、子どもたちのアンケート結果とも連動しているもので、これまで実施されてきたスポーツ・レク関連事業が一定の満足をいただけたことと、児童生徒・保護者の関心が、それ以外の分野に広がっていることが表れた結果と言える。今後もスポーツ・レクに関する事業の展開は勿論、大幅なニーズの増加が見られた「職業理解」と「クリーンアップ」の展開に特に注力していくことが必要に思う。</p>
20	仙北市	<p>子どもが地域行事・活動への参加は当然良いことと思っているようだが、やはり親御さんは仕事に追われ忙しいことがわかる。小・中学生を持つ親は、仕事と子育てで忙しい毎日を送っているため、この結果は致し方ないと感じるが、学校行事には率先して参加していると思われる。</p>
21	美郷町	<p>郷土愛、文化の伝承についての内容を望んでいるため、わくわくスクールで今後もとりたい。</p>
22	横手市	<p>全県の結果とほぼ同じである。子どもと保護者もほぼ同じであるが、「地域の人たちに望む手伝いの分野」の「図書館整備」については、子どもと保護者の意見に差があるようだ。</p>
23	湯沢市	<p>保護者のニーズは「文化の伝承」、「歴史の伝承」、「職業理解」が増加しており、子どもたちのニーズの増加と概ね一致している。これらを参考に地域と連携した事業やイベントを企画する必要があると思われる。</p>
24	羽後町	<p>今後、地域行事等の活動に率先して関わりたいと思っている方が非常に多いので、とても良い傾向である。</p>
25	東成瀬村	<p>地域活動や地域の方々の協力を通して、ボランティアや体験活動、スポーツ活動を経験させたいという意見が多くある。また、中学生になると職業理解・職場体験という回答が多くなっているため、地域だけでなく学校教育と連携した支援も検討していきたい。</p>

#### 4 公民館について

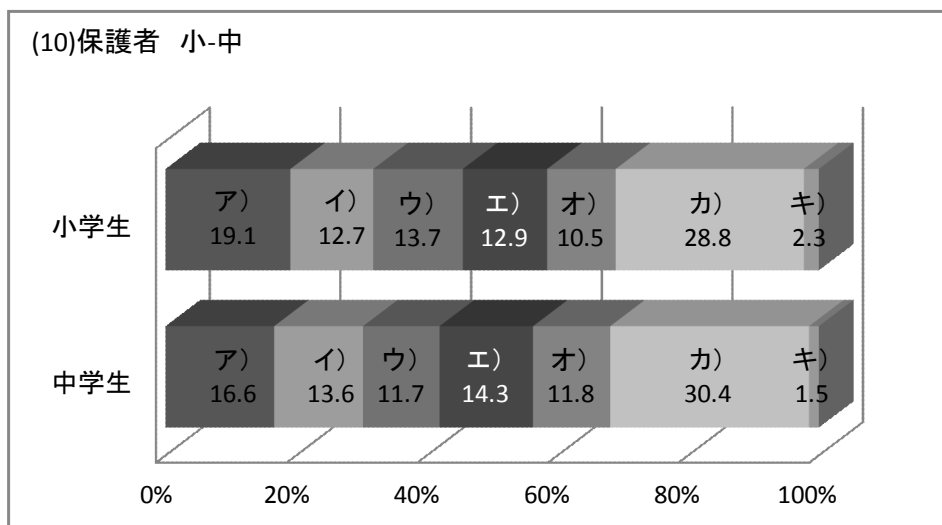
##### ここでいう公民館とは・・・

市町村が設置して、地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行う機関をさします。市町村によっては、〇〇生涯学習センターや〇〇市民センターといった名称になっている場合もあります。

ただし、町内会や自治会などで設置している集会施設としての公民館(自治公民館などといいます)は含めずにお考えください。

(10)あなたは、これからの地域活動や行事の推進役をどのような組織が行えばより効果的だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

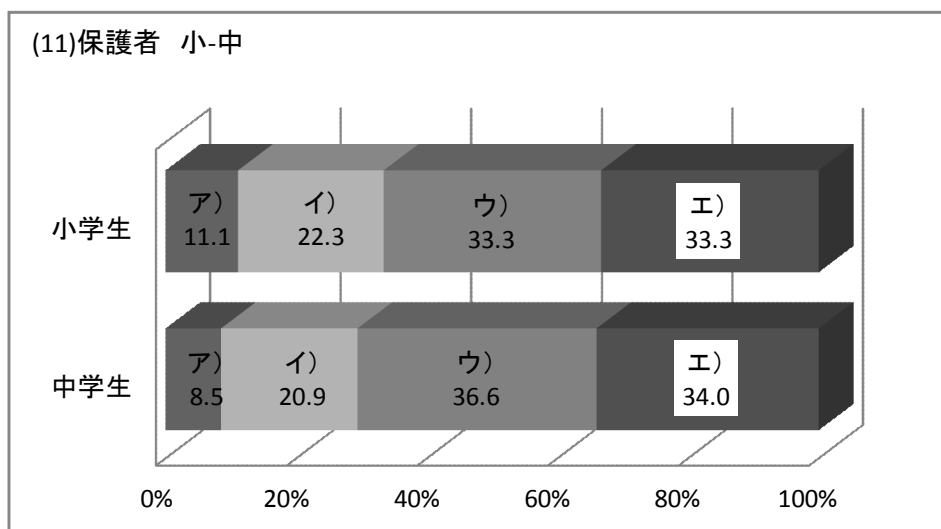
- ア)町内会    イ)NPOや民間団体    ウ)公民館    エ)教育委員会    オ)学校  
カ)市町村のまちづくりなどを担当する部署    キ)その他



小学生・中学生とも、1位「市町村のまちづくりなどを担当する部署」2位「町内会」で全体の傾向は変わらないが、市町村別を見てみると、「公民館」や「学校」が1位の市町村もあるなど市町村による差が激しい。

(11)あなたは、この1年間に公民館に何度くらい行きましたか。1つ選んでください。

- ア)10回以上    イ)5回前後    ウ)1, 2回    エ)一度も行っていない



小学生・中学生とも同じ傾向で、「一度も行っていない」が1/3程度を占めている。この設問も、市町村による差が大きい。

(12) 前問(11)で、ア) イ) ウ)と答えた方のみお答えください。

あなたは、どのような用事で公民館に行きましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

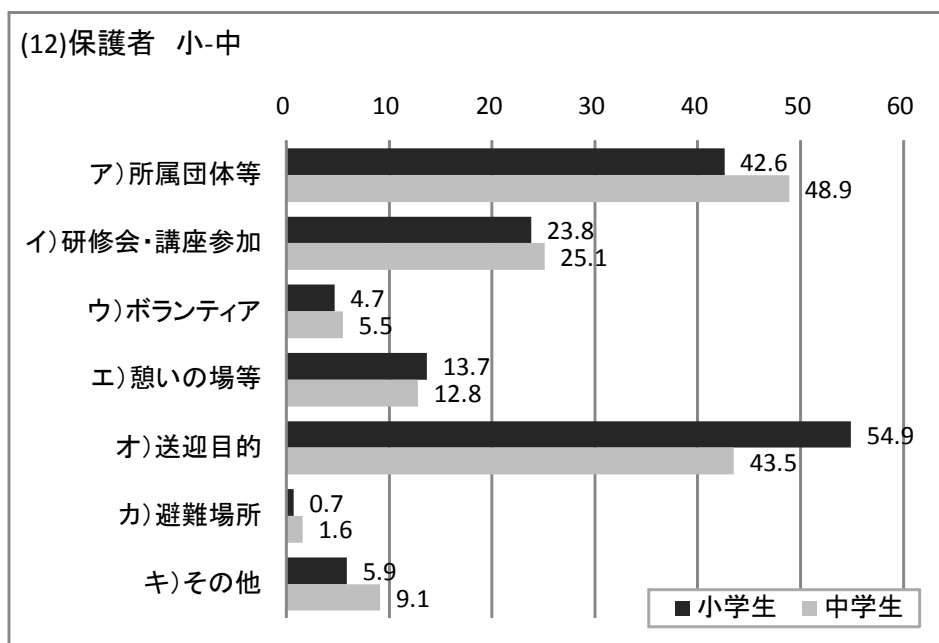
ア) 自分が所属しているグループや団体の自主的な活動の目的で

イ) 公民館や行政機関、他団体等が主催する研修会や講座等への参加の目的で

ウ) 公民館ボランティアや講座のスタッフ等のボランティア・支援の目的で

エ) 憩いの場として、または知り合い等に会う目的で      オ) 子どもや家族の付き添いや送迎の目的で

カ) 災害時の避難場所として      キ) その他



小学生では、「送迎目的」が54.9%で1位、中学生では、「所属団体等」が48.9%で1位となっている。

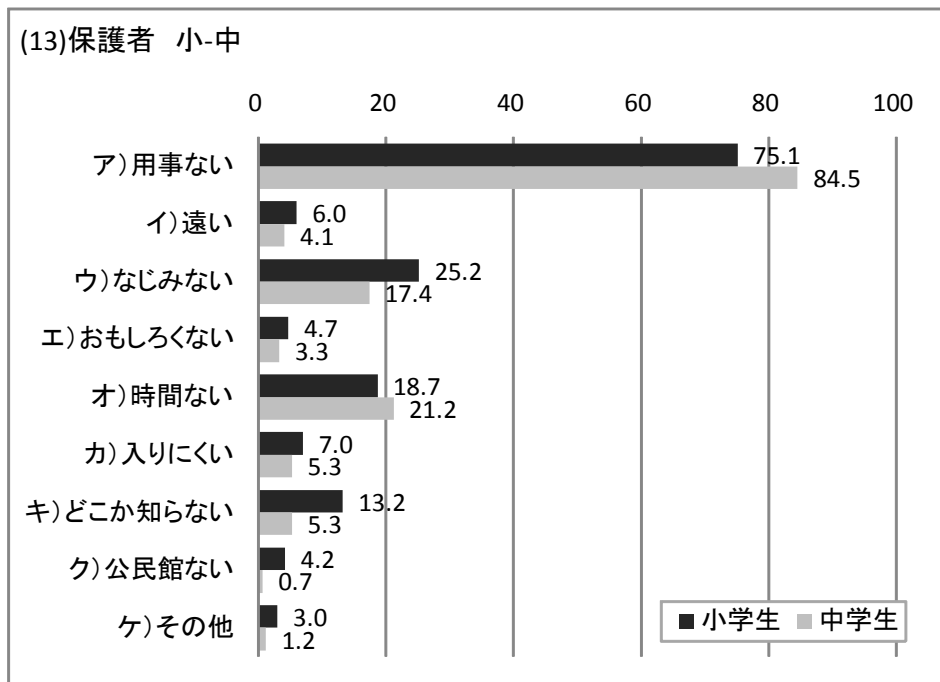
(13) 前問(11)で、エ)と答えた方のみお答えください。

あなたが公民館に行かなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

ア) 特に用事がなかったから      イ) 公民館が遠いから      ウ) なじみがないから

エ) おもしろくないから      オ) 時間が合わない(時間がない)から      カ) 入りにくい雰囲気だから

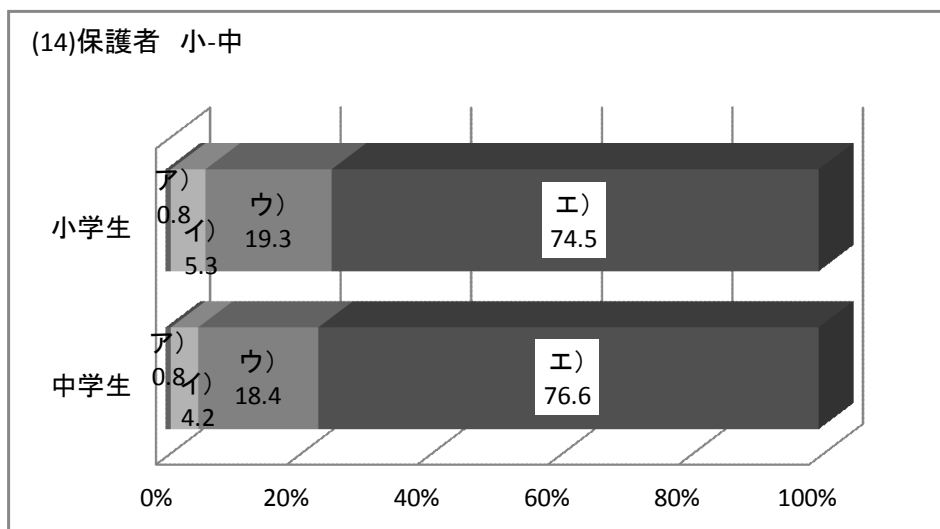
キ) 公民館がどこにあるか知らないから      ク) 公民館がないから      ケ) その他



小学生・中学生とも、「用事がない」が多く、ほぼ同様な傾向を示しているが、小学生では、「なじみがない」「どこか知らない」が中学生より多くなっている。

(14)あなたは、この1年間に公民館主催の事業や講座に参加したことがありますか。次の中から1つ選んでください。

- ア)よく参加している    イ)参加している    ウ)1, 2回参加したことがある    エ)参加したことがない

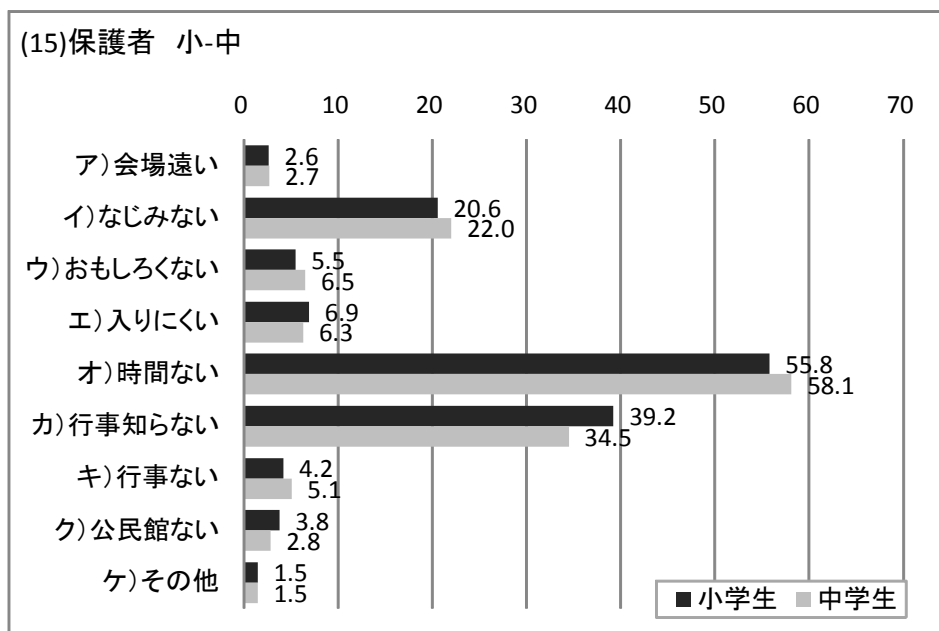


小学生・中学生とも同様な傾向で、「参加したことがない」が約3/4と最も高くなっている。

(15)前問(14)で、エ)と答えた人(参加したことがない人)だけお答えください。

あなたが参加しなかったのはなぜですか。理由をすべて選んでください。

- ア)会場が遠いから    イ)なじみがないから    ウ)おもしろくないから  
 エ)入りにくい雰囲気だから    オ)時間が合わない(時間がない)から  
 カ)どのような行事をやっているか知らないから    キ)行事が行われていないから  
 ク)公民館がないから    ケ)その他

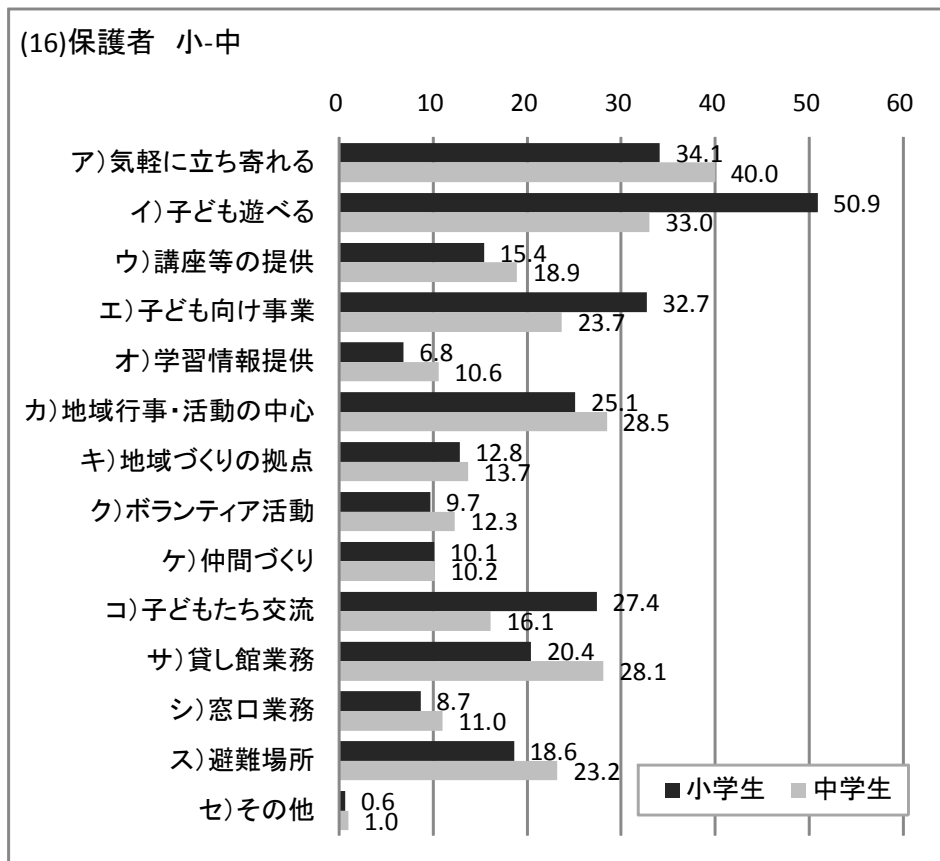


小学生・中学生とも同じような傾向で、「時間ない」「行事知らない」「なじみない」が上位を占めている。

(16)あなたは、今後、地域の公民館にはどのような役割を強化して欲しいと考えていますか。3つまで選んでください。(公民館のない地域の方も要望をお書きください。)

- ア)気軽に立ち寄れる場    イ)子どもたちが気軽に遊べる場  
 ウ)社会人や高齢者向けの学習講座等の提供    エ)子ども向けの事業や講座の実施  
 オ)学習情報の提供    カ)地域行事・活動の中心    キ)地域づくりの拠点  
 ク)ボランティア活動の実施や情報提供    ケ)仲間づくりの場    コ)子どもたちの交流の場  
 サ)集会・会議・サークルなどへの貸し館業務    シ)市民サービスの窓口業務    ス)災害時の避難場所  
 セ)その他





小学生・中学生とも、「子ども遊べる」「気軽に立ち寄れる」が上位となり、安全に集える場への要求が高い。小学生では、「子ども向け事業」が中学生より高くなっており、公民館事業への期待度が高いと思われる。

◆市町村教育委員会用調査『(9)保護者用「公民館について」(10)～(16)の結果について、感想・意見・分析・今後の方針等をご自由にお書きください。』の回答から

No	市町村名	内 容
1	鹿角市	保護者の公民館の利用、公民館事業への参加は全県平均よりは高くなっているが、参加していない方は公民館に魅力を感じていない率が高く、利用を高めるような対応が必要と考える。地域活動の推進役においては、教育委員会への要望が高い結果となっているが、行政だけでは限界があり、協働の精神により地域の自立した取り組みが必要と思う。
2	小坂町	公民館主催の事業・行事への参加率小学生保護者36.3%、中学生保護者46.7%、50%を目標にしたい。 また、公民館の役割については、気軽に立ち寄れる、子どもが気軽に遊べる、子ども向け事業、子どもたちの交流の場、が主となっている。

		「子どもにとっての公民館」への期待は大きいことを認識しながらも、保護者にとっても魅力がある公民館を目指す必要がある。親子でも楽しめる事業や保護者のニーズをとらえた事業も必要有り。
3	大館市	公民館に対する要望等の結果について、参考としながら公民館活動を支援していきたい。
4	北秋田市	住民にとって、一番行きやすい場所が「公民館」であるよう、「安心」で「身近な場所」としての公民館の役割を再点検する必要がある。 地域活動や行事の拠点としての役割＝推進役を、教育委員会と公民館にと考えている人が32%となるが、町内会や学校と連携し、コーディネイト役として公民館が機能すると、相互に効果が上がるのではないか。
7	藤里町	地域活動や行事の推進役として、NPO団体や市町村のまちづくりなどを担当する部署が多く選ばれているが、なかなか新しい団体や部署がつくられるのは難しい状況。公民館は町の中心で、児童生徒が帰宅の待ち合わせをする場所として多く利用されている。
8	三種町	若い世代、子どもたちを持つ親の公民館離れが進んでいるように思う。 生涯学習活動の場が、公民館だった昔と違い、今は生涯学習活動を意識することなく、趣味活動、余暇活動をさまざまな場所で楽しむことができる。また、公民館活動を奨励していた世代、特に高齢者の方々は今でも公民館で学習活動をしているので、時代の変化かもしれない。
9	八峰町	講座及び行事等については、生涯学習日より及びチラシ等で、募集を行ってはいるが、時間が無いなど、今の時期は子育てのため（PTA、クラブ活動）、自分の自由になる時間が取れない状態にあるのではと思います。 公民館の役割で、子どもを安心して遊ばせて置く場所を望んでいるのではないだろうか。（土日曜日休日は、公民館職員は休日）
10	秋田市	小中学生をもつ保護者の年代は、仕事などで忙しいため、どうしても公民館との関わりが少なくなってしまうと思う。
11	男鹿市	公民館主催の講座等に参加しない理由として、「時間がない」と回答している保護者が圧倒的に多く、児童生徒を持つ親世代のゆとりのなさを実感する。 一方、公民館に求めるものとしては、児童・生徒の保護者共に、「子どもたちが気軽に遊べる場」との回答が多く、今後検討していきたい。
13	五城目町	回答者が30代、40代の女性であり、子どもとの関わりの中で公民館を訪れている率が高いが、このような世代の女性を対象とした事業がなされておらず、各種講座実施のための検討を図っていきたい。
14	八郎潟町	公民館に気軽に立ち寄れる、子どもも遊べる施設を望んでいるようだが、それにプラスした何かを提供できればなおいいと思う。
15	井川町	地域づくりの推進役を小学生の保護者は62.6%が公民館・教育委員会と回答しているが、中学生の保護者となると24%と減少し、その分町内会・NPOや民間団体が32%と増加している。これは、いろいろな側面が考えられ、興味深い。
17	由利本荘市	公民館主催の事業や講座に参加したことのない保護者が7割を超えている。

		<p>時間がないことや行事を知らないとする理由が多いが、関心の低いことも一因と考えられる。公民館単独の事業や講座のみでなく、学校や町内等との連携を図り、公民館活動野一色を高めていくことも必要。</p>
18	にかほ市	<p>小学生の保護者は部活や児童クラブの際送迎目的で足を運んでいるが、中学生の保護者は若干講座等に参加した方々も見られる。しかしながら全県でも本市でもやはり時間がなく用事も無い限り公民館へ来ることはないようである。時間がない中で、息抜きとなるような趣味講座の企画を目指す。</p>
19	大仙市	<p>まず地域活動や行事の推進役がどの組織で担うべきと考えられているかを問う設問(10)については、全県的にも大仙市も共通して児童・生徒の保護者とも若干「市町村まちづくり担当」への期待が多いものの、各組織にほぼ均等にその期待が寄せられていると言え、町内会や公民館など1組織だけが抜き出て地域づくりを推進していくのではなく、相互に連携を密にしながら推進していくべきものと考えられている結果が表れているように思われる。</p> <p>また、公民館の来館頻度を問う設問(11)から(15)に関しては、1回以上訪れた方が児童・生徒の保護者共に7割近くいたのに対し、その来館理由として送迎を除けば「所属団体の活動」が挙げられるようであった。関連し、公民館を訪れたことがない方にその理由を問う設問(13)では、最大の理由として「用事がない」という理由が挙げられており、これは近年の公民館の課題に挙げられる同じ人しか利用しない公民館、いわゆる「固定客だけが利用している公民館」となっている現状の表れではないだろうか。</p> <p>今後はこの用事がない市民たちをいかにして「用事を持ってもらう＝事業に参加、引き込めるか」という課題の解決が重要に思う。</p>
20	仙北市	<p>調査対象が小・中学生を持つ親ということで、妥当な結果に思う。この調査が、高齢者を対象に実施した場合はかなり違った結果になるのでは。ただ、地域活動や行事の推進役については、やはり行政への期待が大きいことを感じる。</p>
21	美郷町	<p>公民館とまちづくり担当が連携して事業を行っていききたい。送迎目的で公民館に来る人が65%いるため安心して子ども等が公民館を利用し、待ち合わせ場所としても利用できるよう管理していききたい。</p>
22	横手市	<p>公民館に関する問いについては、ほぼ全県の結果と同じとなっている。</p>
23	湯沢市	<p>保護者も「用事がない」、「なじみがない」など公民館との距離が出来てきており、子どもの公民館離れの一因と考えられる。</p> <p>「地域の団体の会議」、「子どもの送迎」などで必要があれば公民館を利用するが地域行事、講座等での利用は少ない。これは小・中学生の保護者となる世代は仕事が忙しく、公民館を利用する余裕がなく、親子で気軽に参加しやすい企画を計画し、解消していく必要がある。</p>
24	羽後町	<p>地域活動や行事の推進役を町内会と答えた方が、意外といたので今後の活動に期待がもてる。しかし、公民館を含め行政関係に推進役をと答えている方が大部分なので、今後、行政機関が縮小されると不安が残る。</p>
25	東成瀬村	<p>地域活動団体の推進については、教育委員会で支援を行っているため、今</p>

後も活動推進のための支援を継続していく。  
 今後の公民館の役割については、アンケート結果を参考に検討していきたい。

◇公民館等用調査『(5)保護者用「公民館について」(11)～(16)の結果について、感想・意見・分析・今後の方針等をご自由にお書きください。』の回答から

No	市町村	施設名	内 容
1	鹿角市	尾去沢市民センター	地域活動の推進役は市民センターが行なうべきと思います。
2	鹿角市	十和田市民センター	子どもの送迎目的の保護者が多く事業の参加には至っていない。
3	小坂町	小坂公民館	子どもが遊べる、子どもの交流、子どもの事業の充実を求めている…子どもが使いやすい、子どもの施設的なとらえ方をしている感がある。保護者のニーズに合った事業がないのか。こちらに来てくれる人(高齢者や子ども)をターゲットにした事業に偏っているのでは…。 家庭教育=子育て講座、講演会のような事業になってしまう。もう少し事業の内容等工夫する必要がある。
4	大館市	中央公民館	当公民館事業は、小・中学生を子にもつ世代を対象とした講座・事業が少なく、利用者も比較的高齢の方が多く見られることから、アンケート結果の公民館利用回数(問11)や公民館に行かなかった理由(問13)、公民館事業への参加(問14)の結果は、ある程度想像できる。しかし、これからの地域活動の推進役として期待されている事や、気軽に立ち寄れる・子どもと遊べる公民館などがあることから、今後の公民館事業の展開の参考にしたいと思った。
5	大館市	比内公民館	公民館利用率のトップが小、中ともに「送迎目的」になっていたので「研修会・講座」、利用等を増やす工夫をしていきたい。
7	大館市	田代公民館	当公民館には10の分館があり、それぞれ地域行事・活動の拠点場所として使用されていて、地域行事参加による公民館利用が年代上昇と共に増えているという感想を受けました。 当公民館で実施している講座等の参加者の中で、小・中学生の保護者の年代の方がほとんど見受けられないことが、アンケート結果からある程度想像できる。 「気軽に立ち寄れる」「子どもと遊べる」等の保護者の感

			想が多く有り、今後の事業展開の参考にしたいと思いました。
8	北秋田市	中央公民館	子育て世代であり、両親共に働いている家庭が多いと推測されるため、公民館利用に繋がらないのではないかと感じる。親の利用が子に繋がると考え、気軽に立ち寄れる場であることが望ましい。
10	北秋田市	合川公民館	児童・生徒と同様、保護者の方も時間におわれながら生活を過ごしているように思われます。(14)の結果はある程度予想される結果だったと思われませんが、実際どのようなことを行えば、公民館を利用してくれるのか考えています。
11	北秋田市	森吉公民館	来館した人は地域行事や講座を通して多く利用されているが、時間がなく、行事を知らなかった人も多い。 尚、料理教室・ものづくり・花壇美化等自然環境にも感心が見られます。
12	上小阿仁村	上小阿仁村生涯学習センター	(10)の地域活動や行事の推進役について、上小阿仁村の場合は70%近くが行政部門に期待していることが分かった。この点について地域内の行事を地域の人が率先してできない現状が伺えるため、行政のサポートが求められていると感じた。 保護者自体の公民館利用率も高くはないが、子どもと関連した事業等を実施した場合は、保護者の利用も高まる可能性も考えられるため、今後イベント・講座等の実施について模索したい。
13	能代市	中央公民館	公民館に行かなかった方のうち、その理由として「用事がない」と答える比率多い一方、行った方の中では「研修会・講座」で利用された方の割合が、全県平均より高くなっており、今後も魅力ある講座の開設に努めたい。
15	能代市	二ツ井公民館	所用により時間がとれない方も多くようで、特に用事がなければ、公民館を利用しない方が多く、また、公民館事業にも参加していない方が多いので、公民館を利用するための工夫やPR方法にも力を入れていく必要があると思われる。
16	藤里町	藤里町公民館	保護者が通える時間帯の講座が少なく、公民館の利用は児童生徒の迎えの待ち合わせの場として利用されているのが主になっている。気軽に立ち寄れるような工夫をしていくよう取り組みたい。
17	三種町	山本公民館	小学生・中学生をもっている今の保護者の方々は、お仕事などに大変忙しいので公民館にくる方は非常に少数だと思っております。お子様の送迎のために公民館を利

			用している保護者の方々はこちらの公民館にもおります。もう少し保護者の方々も時間のゆとりがあればよいと思うのですが。
18	三種町	八竜公民館	三種町八竜地域では、分館組織があり地域活動を実施しています。八竜地域のスポーツイベントについては、八竜地域スポーツクラブが推進役となって開催しています。ただし、文化的事業については、分館によって盛んな集落とそうでない集落があり、統一的対策が困難になってきました。
20	八峰町	八峰町公民館	講座及び行事等については、生涯学習だより及びチラシ等で、募集を行ってはいるが、時間が無いなど、今の時期は子育てのため(PTA、クラブ活動)、自分の自由になる時間が取れない状態にあるのではと思います。 公民館の役割で、子どもを安心して遊ばせて置く場所を望んでいるのではないだろうか。(土日曜日休日は、公民館職員は休日)
21	秋田市	中央公民館	保護者はなかなか公民館に足を運ぶことはないと思った。 忙しい家庭が大半であると思うので気軽に親子で参加できる事業を開催を検討したい。
24	男鹿市	脇本公民館	(16)の回答で、「子どもと遊べる」や「子ども向けの事業」を保護者が要望していることをふまえ、講座内容をみなおし、多くの親と子どもが、時間がない中でも興味を持って気軽に参加できる講座を企画していきたい。
26	潟上市	昭和公民館	この調査では、公民館のもつ役割をいろいろな面から調査していますが、今はスポーツはスポーツ担当課で、まつりもそれぞれの担当課で行うようになり、何でも行っていた昔の公民館とは違ってきています。 また施設として子どもと遊ぶ場所もなく気軽に立ち寄ってほしい場所であってもその機能を有していない状況です。地域公民館も管理面から常時開館出来ない状況です。また子どもを対象とした事業を公民館が主催しても会場が別であったり、参加者についても1回20人程度が限界だと思います。
27	五城目町	中央公民館	地域との関わりの深い保護者が、公民館の行事や講座などに関心を持ち、多くの方が公民館に足を運んでいるものと想定していたが、「一度も行っていない」が43%と高い。児童の母親が、アンケート回答者のほぼ100%という結果かもしれないが、事業等の見直しにより、若い女性が公民館を利用する機会を増やせるよう検討したい。

28	八郎潟町	八郎潟町公民館	公民館は、「気軽に立ち寄れる」場所、「子ども向けの事業」を実施してほしいとの要望が多い。それらの要望に応えられるよう検討したい。
29	井川町	井川町公民館	地域づくりの推進役を小学生の保護者は62.6%が公民館・教育委員会と回答しているが、中学生の保護者となると24%と減少し、その分町内会・NPOや民間団体が32%と増加している。これは、いろいろな側面が考えられ、興味深い。
31	由利本荘市	由利公民館	調査対象校が当公民館管轄外の小学校も含まれているため、どの程度当公民館に対する意見か判断が難しい(公民館というものをどうとらえているのかわかりにくい。集落単位の公民館のことを想定しているのではないかとも思われる)が、設問(14)は、公民館事業にいかに関心がある方が幅広く参加していないか如実に分かり、興味深い。また、設問(16)で子どもたちが気軽に遊べる場の役割強化を望む割合が高いので、保護者は子どもの頃の体験が豊富な方が良いと考えていることがうかがえる。
32	由利本荘市	鳥海公民館	地域活動や行事の推進役に関して、公民館と教育委員会を挙げている方を合計すると、「まちづくり担当部署」を超える。更に学校を加えた場合は、教育委員会関係のみで40%(由利本荘市)となる。この結果から、地域活動の中心として期待されていることが伺えるが、公民館主催の講座への参加率は極めて低調である。当公民館でも、10講座を開催しているが、新規の参加者には恵まれない状況である。こうした中で魅力ある講座や気軽に参加できる講座の開設が求められるが、そのアイデアや地域的な条件(中心部から遠い)から、講師選定に苦慮している。継続的な参加が難しい場合もあるので、単発の講座を幾つか検討する。
33	にかほ市	仁賀保公民館	保護者も児童生徒と同じように公民館活動、地域活動に参加しない理由としては、知らない、仕事が忙しいという理由があげられているが、公民館に来る理由としては子どもや家族の送迎目的で訪れることが多いことがわかる。 また、公民館に期待されている役割としては子どもたちが気軽に遊べる場、地域行事・活動の中心、子どもたちの交流の場などがあげられている。 児童生徒はもちろん保護者にとっても魅力ある公民館であるように、地域の情報を発信していきたい。
34	にかほ市	金浦公民館	保護者が、公民館を利用しない理由は「時間がない」、要望は「子どもが気軽に遊べる場所が欲しい」との声は、

			保護者はともかく子どもたちの居場所づくりとしての公民館は必要とされていると感じました。
35	にかほ市	象潟公民館	子育て中の保護者においては、学校行事、スポ少関係、地域の行事、仕事とずいぶん忙しい年代だと思われる。夜や土日の事業を計画しても勤務形態の様々から、良くも悪くも言われることがある。公民館事業においても文化祭等で個々に聞いてみると、知らなかったことが多く、広報や通知もよく見ることが少ないようだ。学校や地域との連携で参加へ取り組める事業の計画も一案かと思われる。
36	大仙市	大曲中央公民館	公民館を利用していない人の多くは行事を知らないためなので、行事の周知方法等を検討していく必要があるのではないか。
37	大仙市	花館公民館	中学生の保護者は、市域や部活動の保護者会の会場として来館することが多いが、小学生の保護者は、公民館を会場とした珠算・習字等の教室の送迎のため来館することが多い様だ。
38	大仙市	仙北公民館	<p>保護者には「自身が利用者として」という観点もあれば「保護者として」の利用形態もあろうと考えられる。この場合において、我々公民館が考えるべきスタンスははたしてどちらなのか？という疑問がある。</p> <p>自身が利用者として抱く公民館像は「交流拠点」であり「学習情報の提供・発信拠点」であるが、保護者となると逆に「子どもをしつけてくれる施設」「礼儀や人間性を高めてくれる施設」という要望が高まり、自身が学習者として臨む内容とは全く別の内容（家庭で自分が子どもに教えるべき内容を望む）への要望が高まっている。</p> <p>つまり、「自分は好きな分野を学んで（又は、学べる情報を入手したい）みたい」というニーズを抱える一方、保護者となると「子どもにいい影響のみを与えてくれる存在であってほしい」という、多少我儘な存在になってしまう危惧を孕んでいる。</p>
39	大仙市	協和公民館	<p>児童と同じような回答であり、公民館には用事がなければ足を運ばないのが、現状である。子育て世代が気軽に参加できる行事やサークル活動などもほとんど行われていないし、小・中学生の保護者も仕事等の関係で日中ほとんど自由になる時間がないのが要因と思われる。</p> <p>図書館やホールを利用した、子どもと一緒に親子で参加できる行事や講座は行っているが、さらなる企画の充実や魅力ある講座を検討し、参加者増に少しでもつなげ、</p>



			公民館に親しみをもってもらうことが、今後の課題と思われる。
43	仙北市	角館東地区公民館	当公民館では高齢者を中心とした事業を実施しており、調査回答者の30代、40代、50代の人たちには参加しにくい状況であり、これを改善するには学校、教育委員会等関係機関と協議し連携をとりながら公民館活動の活性化を図る必要がある。
44	美郷町	美郷町公民館	公民館とまちづくり担当が連携して事業を行っていきたい。送迎目的で公民館に来る人が65%いるため安心して子ども等が公民館を利用し、待ち合わせ場所としても利用できるよう管理していききたい。
45	横手市	中央公民館	市の広報と一緒に情報を折り込んでいる『公民館報』がいかにも目にふれていないかが、感じられる。(市の広報も同じである) 子育て中の大人が目を向けたくなる情報紙の作成および、情報提供方法の見直しが必要かと思われた。
46	横手市	朝倉公民館	地域の遊び場が減ってきているなか、公民館は子どもたちにとって遊べる貴重な場所となっていると思う。アンケートからも見て取れるように保護者は、子どもが遊べる場、子どもたちの交流の場としての公民館の役割を強化してほしいと考えている。気軽に立ち寄れて、保護者が安心して子どもを遊ばせられる公民館を目指したい。
47	横手市	浅舞公民館	回答者の概ねは、30～40代の母親である。地域行事等への関わり方には関心があるようなので、要望に答えられる内容を検討するべきである。
48	横手市	増田公民館	公民館事業について感心があまりないように感じる。増田の場合は公民館事業にかわる地域センターがある。そこで、住民が主導になり事業展開するという新しい試みを展開している。予算は市からの委託で行われある程度自由に事業を展開することができる。そのような方法で、子どもが興味を抱く事業展開をしていきたい。
49	横手市	十文字公民館	公民館に行かなかった理由が、用事がない。また、公民館の事業、講座等に参加したことがない方が7～8割もいる。このような結果を見て、公民館事業、講座等にもっと工夫が必要だと実感した。
50	湯沢市	湯沢公民館	子どもたち同様に保護者にとっても、“公民館が遠い存在”となってしまっている部分を、改めて強く感じた。 現段階では、半強制的な形での公民館利用(“所属団体等の自主的活動(スポーツ少年団や部活動の保護者会)”や“送迎目的”)にとどまっているような感が強く、自発

			<p>的に参加できるような、例えば、親子を対象とした事業等、子どもたちだけでなく、保護者も興味を持てるような事業の企画・立案、実施につなげられないものかと感じている。</p> <p>また、“これからの地域活動や行事の推進役(=今後の公民館運営の担い手)”を、保護者は「市町村のまちづくりなどを担当する部署」に期待しており、“地域づくりと絡めた公民館運営”への期待の表れではないかと感じた。</p>
51	湯沢市	稲川公民館	<p>小学生の親は9割以上が公民館行事に参加したことがないとの結果に驚いた。親の関心の低さは子どもにも伝わる。</p> <p>乳幼児を対象とした事業も出世数の減少もあり企画が難しい。乳児検診等(市事業)の会場に使用されなくなり、認知度も下がっている。参加しやすい事業の企画を検討していきたい。</p>
52	湯沢市	弁天公民館	<p>“公民館”が“遠い存在”になってしまっているのではないかと危惧している。</p> <p>確かに、保護者の世代が子ども時代に過ごしただろう“公民館”と、今の子どもたちが過ごしている“公民館”とでは、イメージも、そして実際に行っている業務、事業も大きく異なってきているはずである。加えて、これまでとは異なり今年の5月よりは、各地区公民館は“完全嘱託職員化”という体制となっている。</p> <p>もっともっと親しみを持ってもらえるような、“開かれた公民館”になってくれればと考えている。地区住民と一緒にあって、“公民館づくり”に努めていきたいと考えている。</p>
53 54	羽後町	中央公民館 羽後町立三輪公民館	<p>保護者の方も7割以上が公民館事業に参加したことがなく、今後の検討課題である。</p>
55	東成瀬村	東成瀬公民館	<p>地域に根ざした利用価値のある公民館活動が求められており、公民館が一人歩きすることなく、各団体との連携強化を図り進めていくことが大事であるとする。</p>

◆市町村教育委員会用調査『(10)全体の結果について、感想・意見・分析・今後の方針等をご自由にお書きください。』の回答から

No	市町村名	内 容
1	鹿角市	本市では学校支援ボランティアを推進しているが、公民館(市民センター)とも連携し、児童、生徒、保護者のニーズに応じ、地域の力を生かせるよう努めた

		い。
2	小坂町	地域の行事や活動に参加している姿が見えたこと、教育委員会主催事業等への参加率や施設の利用状況など全体的にはうれしい結果ではあるが、自然豊かな町を自負しているだけに、地域の山や川で虫採りをしたり草花の観察をしたり、魚採りをしたり…そんな遊びをしたことがない児童・生徒がいることはショックだった。が、参加してよかったと思うところは多岐にわたっているので、現在の職員体制、児童・生徒の学校生活を考えると新規の事業を掘り起こすことは難しいが、今ある事業に手を加えながら継続していきたい。
4	北秋田市	小学生の保護者の場合、公民館を利用する機会が少ない理由には、育児、子育て、家事、仕事で忙しいことがあげられる。家庭教育の面でも、情報を一番必要としているはずなので、良い機会を提供できるようにしたい。また、学校行事やクラブ活動等とおした保護者同士の情報交換はあると思う。保護者にとって、地域の活動や住民とのふれあいのなかで、育児・子育てをできるような地域ぐるみの子育て活動を考えていけたら良い。同時に、保護者がどういう支援や活動を欲しているのか、ゆとりを持った子育てのために、地域で何をすべきなのかを考える機会を、住民に提供することも必要。また、公民館のみならず、他課との連携も必要になると思う。
5	上小阿仁村	小学生の場合は行事、体験学習を実施すればするほど、積極的に参加をし、いろいろな事を学習するため、今後も公民館事業と併せて企画、実施をしたい。 中学生になると、勉強や部活で忙しいため、なかなか積極的な行事、体験学習は難しくなるようである。ただし、地域活動等の必要性は理解しているため、なるべく生徒の負担とならないような活動の企画が必要ではないかと思われる。
6	能代市	能代市教育委員会では、社会教育施設と連携を図りながら、自分が住む地域への理解を深め、“ふるさと能代”に愛着をもった子どもたちを育成するため、能代の地域全体を学びの場とした体験活動事業を推進する予定となっている。実践を積み重ね、地域の教育力が活かされる仕組みを検討していきたい。
7	藤里町	児童生徒には教育委員会や公民館としての行事・活動はあるが、保護者が通える時間帯・日程の講座などが少ないため、今後の行事・活動を検討していきたい。
8	三種町	休日等の過ごし方、趣味の世界の多様化に伴い、公民館の役割が学習などの学びの場だけではなく、気楽に立ち寄れる、コミュニケーションの場としての役割が望まれているように感じられる。
9	八峰町	今の世代に会うような講座、行事等が見当たらないのではないかと思います。
10	秋田市	全ての年代にとって、公民館をもっと身近な存在にすることが必要だと思う。
11	男鹿市	平成23年度と11年度では、調査対象となっている学校が違うため、分かりづらいところがある調査結果だった。しかし、保護者世代のゆとりのなさが、地域活動の参加率低下につながり、ひいては児童・生徒たちの体験活動、地域活動の低下につながっているのではないかと感じた。

13	五城目町	今後、子どもから老人まで、各年齢層に対応できる事業・講座等の必要性を感じた。職員のスキルアップを図るとともに、公民館運営審議会との意見を交わしながら対応していきたい。
15	井川町	当町は、児童生徒と地域の人々・活動・行事との距離が比較的近いと考えていたが、それが数字の上でも確認できた。ただ、その中でも変化があることは当然であり、そのことはいろいろな事業の中で感じている。児童生徒・保護者の希望、地域の実状、教育委員会・公民館として必要と考える事柄等を勘案しながら、今後の事業運営にあたっていきたい。
17	由利本荘市	できるだけ多くの子どもたちに公民館活動の楽しさを体験させたい。しかも小学生時代に、その体験が将来地域の活動を担う原動力になると思う。そのためにも、学校との連携はとても大切だと思う。
18	にかほ市	児童生徒、保護者とも公民館事業・講座に参加した人は少なく、その理由は「行事を知らない」という回答が多数を占めている。児童生徒の情報源は学校が多いようであるので、学校と連携してPR強化を図る。加えて親子参加型の体験事業を増やす。 また、アンケートによれば気軽に遊ぶ・集まる環境が求められているので、ハード整備も含めて改善を図りたい。
19	大仙市	今回、本調査結果をとりまとめいただいたことにより、前回調査時から今回の調査までの地域住民を取り巻く状況、関心、ニーズなどの変動を知ることができたことは、今後の子ども向け体験活動と地域活動を推進していく上で指針となる重要な資料が示されたと言える。特に、児童生徒・保護者共に共通して見られたのが、「地域活動に参加したことがない」という方が多少の差異はあるものの全て増加傾向にあり、さらに公民館事業への参加状況を問うアンケート結果では中学校生徒の94.6%もの生徒が参加したことがないと答えられたことは、現在の保護者等が地域のことを考え行っていく地域活動への参画を促していくことは勿論、将来の地域を担う子どもたちの養成という点からも懸念される結果である。しかしながら、児童・生徒が必要だと考えている今後の地域活動のニーズでは「地域理解」や地域の「自然観察・環境」に関する関心が増加傾向にあったことから、そのニーズを満たせるような「地元学」の学習機会を提供し、一層の地域活動への参画を促していけるような事業の企画・展開が必要に思う。
20	仙北市	近年、新しい時代に向けて地域行事や地域活動は、行政主導から民間主導になってきている。(財政や地方分権の流れ) 今後は、公民館としては、行事・活動内容により住民ができるものは住民が取り組む認識をもってもらえるような橋渡しの役割も必要になってくるだろう。
21	美郷町	公民館の講座、事業等、周知不足がある。知らないから参加していない人が多いため、もっとよびかけをしたい。親は忙しい人が多いが、親子交流を求めている人も多いので、参加しやすい環境づくりを工夫しながら続けていきたい。
23	湯沢市	親子での公民館離れが前の調査より進んでおり、これらをどのように解決していくかが課題である。 また、本市においても壮年期から高齢期の事業は比較的参加者も多く充実し

		ているが、少年期から青年期を対象等した事業は参加者が少なく事業実施が難しくため、事業数も少ない状況にある。今後、地域、学校、公民館が連携した事業を企画し、解消していく必要がある。
24	羽後町	地域活動や行事の推進役を町内会と答えた方が、意外といたので今後の活動に期待がもてる。しかし、公民館を含め行政関係に推進役をと答えている方が大部分なので、今後、行政機関が縮小されると不安が残る。
25	東成瀬村	子どもの社会性や協調性等を育むうえで、地域への関わりは大変重要である と考える。子ども・保護者ともに地域活動に積極的に参加しており、こうした傾向は今後とも継続させていきたい。  また、地域活動として様々な活動する際の支援や地域の教育力の活用等についても、今後とも推進していく。

◇公民館等用調査『(6)全体の結果について、感想・意見・分析・今後の方針等をご自由にお書きください。』  
の回答から

No	市町村	施設名	内 容
2	鹿角市	十和田市民センター	保護者が以前より学校以外での行事への関わりが少なくなってきた。
3	小坂町	小坂公民館	公民館が子どもたちの居場所になっていると感じた。その中で自由勝手な遊びだけでいいのか…この機会を利用してできることを提案出来たらいいと思う。また、保護者に関しては、子どもたちが気軽に遊びに行くところとして、子どもにとって使いかたがよければいいというところが垣間見られる。親子参加の事業、保護者の大人としての学習意欲を刺激するような事業を掘り起こしたい。  時間のない子育て中の方々、なかなか公民館事業ばかりではなく町の事業にも参加しない世代なので、公民館に来てもらえるようにすることで、町の活性化にもつながってほしいと思う。
4	大館市	中央公民館	アンケート結果では、公民館事業や公民館利用の周知PR不足を感じた。ただ、現状でも公民館の貸館状況は、余裕がある状態では無い事から、利用者の固定化が感じられる。  当公民館としては、公民館自体・主催事業(講座)のPRを積極的に実施するとともに、市民が気軽に立ち寄れる公民館になれるように努めていく必要があると思った。
5	大館市	比内公民館	公民館事業のメニューを工夫する事と、行事の周知方法について、見直しを検討しなければならないと思った。

7	大館市	田代公民館	<p>生徒・保護者とも公民館に対して「なじみがない」ことが、講座や行事への参加抑制につながっている感想を受けました。</p> <p>働いている保護者や、クラブ活動の忙しい小・中学生に合わせた、講座等の開催時期や時間の選定の問題もあると思いますが、「気軽に立ち寄れる」公民館を作るため、児童生徒・保護者が興味を引く内容の事業展開が必要と思いました。</p>
8	北秋田市	中央公民館	<p>平日の日中に公民館を利用できる人は限られるため、仕事を持った保護者や子どもたちの参加を考えた場合、夜の時間帯や休日を設定し、なおかつ興味を引くような講座等を考慮する必要がある。まずは、場所も含めて公民館を知ってもらい、より多くの住民に交流を深めてもらえるような取組が大切と考える。</p>
10	北秋田市	合川公民館	<p>児童・生徒及び保護者の方の行事はどうしても学校行事(部活を含む)、家庭行事が優先され、公民館の行事に参加するというようなところまでなかなかいかない状況だと思われます。</p>
11	北秋田市	森吉公民館	<p>児童及び親子で参加できる講座を計画し、学校との協力、PRしながら実施して行きたいと思います。</p> <p>尚、地域の伝統芸能の育成には、感心が見られるので続けて計画して行きたいと思います。</p>
12	上小阿仁村	上小阿仁村生涯学習センター	<p>公民館等で行事やイベントを開催しても、特定の児童生徒しか参加しない状況が多々あるため、普段参加しない、もしくはできない児童生徒にも、参加してもらえようような状況を作っていきたい。参加してもらえようような状況を作るには、イベント・講座の善し悪しもあるが、保護者側の理解・協力も必要不可欠だと考える。</p> <p>したがって、公民館が子どもも保護者も一緒に成長できる場となれるように、今後の事業を検討する予定である。</p>
13	能代市	中央公民館	<p>全体的に公民館へ行ったことのない方の割合が高かったため、事業はもちろん公民館そのもののPRに努めていきたい。</p>
15	能代市	二ツ井公民館	<p>全般的に公民館に足を運んだり、公民館事業に参加していない傾向が強い。</p> <p>親子そろって来館して楽しめる場の確保や、一緒に体験できる事業に更に力を入れる必要があることと、それをできるだけ多くの方に周知させることも必要と思われる。</p>
16	藤里町	藤里町公民館	<p>児童生徒には教育委員会や公民館としての行事・活動はあるが、保護者が通える時間帯・日程の講座などが少</p>

			ないため、今後の行事・活動を検討していきたい。
17	三種町	山本公民館	高齢者の方々には、大変なじみのある公民館の利用なのですが、小学生・中学生そして、その保護者の方々にはまだまだ、なじみのない公民館の利用なのですが、放課後児童クラブや児童館などが増えてきているので公民館の利用がないのもひとつにあると思っております。
19	三種町	琴丘公民館	アンケート調査では、公民館行事に参加したことがない小中学生が三種町で全体の8割にも達しているが、当公民館においても、合併以後に学社連携事業が行われなくなったこともあり、公民館が主催する事業に子どもたちが参加する機会が少なくなったことにも起因していると考えられる。 今回のアンケート調査結果を踏まえて、今後は、職員スタッフの充実を図りながら、公民館が地域や学校に出ていくかたちで関わり合っとうまく連携していくことと、公民館からアイデアや情報を発信していくような魅力ある公民館にしていくための施策等の取組をすすめていきたい。
20	八峰町	八峰町公民館	今の世代に会うような講座、行事等が見当たらないのではないかと思います。
24	男鹿市	脇本公民館	普段、公民館を利用する人たちの年代をみれば、中高年の人たちが多く、それ以外の年代が少ない。その中でも子どもや保護者世代の利用が少ないのが現状である。 子ども向け講座の企画を通し、子どもたちとその親世代が気軽に立ち寄れる公民館となるよう工夫していく必要がある。
26	潟上市	昭和公民館	市民は公共施設には用事がないと来ないのが一般的と思う。誰でも気軽に利用できる、来ることが出来る公民館ですが、その日の行事によっては、遠慮してもらうこともあります。また公民館が本来の地域づくりや人づくりの事業を推進しなくてはならないこと、このままのカルチャーセンターになりつつあることには懸念を抱いています。しかし公民館職員数の不足はいろいろな面に影響を及ぼします。それらを実施できる状況から遠くなっている現状です。つまり1人や2人の公民館職員では日常的な業務である市民や団体等への施設貸出業務(毎日申込がありブッキングしないよう注意をしながら割り振りを行っています。)また行事によっては使用団体に施設機材の使い方を教えながら大会に参加したりすることもあります。そして市や教育委員会に提出する行政資料作成も日常的にあり、行革で職員人数が少なくなり、臨時職員で対応しても

			<p>限度があります。日常業務への対応が今は大きなウエイトを占めるようになっていきます。</p> <p>このようなことから、事業を主体的に考える時間を持っていない状況です。</p>
27	五城目町	中央公民館	<p>異なる世代や多様化する要望に、公民館がどのように取り組み応えていくか、今回の結果でその難しさをあらためて感じた。</p>
29	井川町	井川町公民館	<p>当町は、児童生徒と地域の人々・活動・行事との距離が比較的近いと考えていたが、それが数字の上でも確認できた。ただ、その中でも変化があることは当然であり、そのことはいろいろな事業の中で感じている。児童生徒・保護者の希望、地域の実状、教育委員会・公民館として必要と考える事柄等を勘案しながら、今後の事業運営にあたっていきたい。</p>
31	由利本荘市	由利公民館	<p>地域での行事や活動には参加している割合が高いが、公民館主催事業・講座からは遠ざかっている傾向が見られる。事業案内を学校と連携・協力することにより周知が図られているようなので、今後共学校との共同体制を構築していく必要がある。小学生より中学生の方が公民館事業に参加できなくなっている（部活動などで忙しくなるためか）、小学校の時分より公民館活動のおもしろさを体感してもらえればと思われる。</p>
32	由利本荘市	鳥海公民館	<p>「公民館行事に参加したことがない」の理由として、「行事を知らない・時間がない」が上位を占めている。このうち「知らない」ということに関しては、近年の情報量の多さが問題と考える。（情報が多すぎて、情報の影に情報が隠れてしまう場合がある。）インターネットなどでは、自分が興味を持っていることしか調べないため、それ以外の情報には目もくれない。このため、やはりチラシなどで強制的な情報を発信しなければならないが、そのチラシも様々な団体などから数多く配布されているため、見る気にならない場合もある。見てもらわなければ意味がないため、チラシの作成方法に工夫が必要となる。チラシは体裁などは気にせずに、インパクトのあるものを作成することとする。（役所らしさは要らない。）</p> <p>今後の地域活動として期待されるものの中で、職場理解・クリーンアップ・ボランティアが上位を占めていることが分かる。こうしたアンケート結果を踏まえて、今後の事業展開に生かしたいと思う。</p> <p>市町村合併以降、職員数や予算額の削減が進められ、</p>



			公民館活動においても事業を縮小せざるを得ない現状であるが、できる限りの維持・継続のため、隣り合う旧町と協力し当番制で行っている事業もある。このように事業にかかる職員負担を減らしながら、少しではあるが広域的な事業展開をすることにより、交流の幅が広がることを期待する。
33	にかほ市	仁賀保公民館	にかほ市は海や山がある自然豊かな環境にあり、それぞれ地域の先生となる人材があるのではないかとと思われる。まずはその人材探しからはじめたい。予算、職員数が減少してきているがそういった工夫で「『公民館がなくなると困る』と地区住民全員から思われる存在」になるように努力していきたい。
34	にかほ市	金浦公民館	子ども、保護者ともに、活用頻度のばらつきがあり、普段公民館を利用しない方たちへの働きかけをどうするか、大きな課題を前に模索中です。
35	にかほ市	象潟公民館	どの年代の事業も、興味や自分の時間が一致すれば利用がある。その広報などがどのように目に気に止まるかだと思う。また、日頃の会話からも誰か一緒だったりすると参加できたりする方が多いように思う。多方面での企画から、また企画や活動に参画できるボランティアも必要、広報への取組（以前、研修した広報ポスター作りやネーミングなど参考になってよかった）、企画するにあっては、様々な情報も必要、情報交換や企画者の体験する場、講師にかんする情報なども多く必要とする。公民館は、市民と同じ目線にたって情報を発信する側でもありたいものと思う。
36	大仙市	大曲中央公民館	子どもや保護者にとって、気軽に公民館にいけるような行事等を行っていくことが必要だと思う。
37	大仙市	花館公民館	小・中学生はスポーツ少年団やクラブ活動、習い事で忙しい様なので、小・中学生と保護者を対象とした事業の実施は難しいと思われる。
38	大仙市	仙北公民館	現代はインターネットや携帯電話の普及により、驚くほど便利になりました。でもその反面、情報量が膨大となり、低質な情報ばかりが氾濫することによって、個人自らがその持ちうる興味を真に活動につなげられていない可能性が高まっていると感じています。 それは学校教育でも同じです。自分が小学校・中学校の時に体験・学習してきたことが、はたして今の児童や生徒にはどのような形で与えられているのか、いや、体験すること自体できない構造になっているかもしれませんが、いかに薄い形ばかりの、リスクを恐れた上っ面だけの学習

			<p>をやらされているのか、今後の社会がどのように崩壊していくのか、心から不安と虞れを感じざるを得ません。</p> <p>そうした中であって、公民館という存在は人と人、情報と活動、知識と経験、探究心と財産を可能なかぎり融合させ、命ある形で地域住民に提供できる姿であるべきです。現代人にとって本当に必要な「失ってはいけない心」というのは古くさいかもしれませんが「公民館」が持ち得るのではないのでしょうか？</p>
39	大仙市	協和公民館	<p>10年前と比較して、自然との関わりや地域の行事に参加している割合が増えているという結果から、児童・保護者共時間がない日常の中で、家族ではできない体験活動を公民館に委ね、参加している姿が見られるということは、今後の公民館活動にも期待していると思われる。現在の公民館は、図書館を併設しているところが多く、学習や読書の利用率も以前よりは増えているし、安全面を考え公園よりも公民館で遊ぶということからも利用率が増えていると思われる。公民館に求めるものも、保護者は礼儀や協調性・愛郷心を、児童も参加することで、友だちができた地域よさがわかったりと共通しているということがわかる。地域に密着した行事等や親の会の活動が減少している中、自然とのふれあいや子ども同士の関わりを主にした活動に力を入れ、家族をまきこんで、これからの公民館は地域の活性化への一端も担っていかなければいけないと思われる。</p>
41	仙北市	西木公民館	<p>学校に行事等の周知はしているが、学校行事、スポ少、部活動と重なり時間が取れない事も多く、公民館事業への関心が低くなっている。分析シートの結果を参考に、各機関との連絡調整を更に密にし、行事に参加してもらえるようにしていきたい。</p>
42	仙北市	田沢湖公民館	<p>田沢湖公民館(職員3)は、市の農林施設(田沢湖総合開発センター)内に事務室を置き、管理業務(貸し館業務)を兼務している。・施設の表に公民館の看板を掲げていないため、公民館施設としての認知度は当然ながら低いと考える。・児童・生徒を対象とした平日事業については、学校側の調整が難しいということで協力を得られない場合が多い。・休日の場合は、対象者がスポ少や部活・学校行事などと重なり、時間が取れないことも多くなり参加や行事への関心が低くなっているものとする。・今回の分析シート「児童生徒(13)」並びに「保護者(16)」の結果を踏まえ、関係機関と十分な協議を重ね対応してまいりた</p>

			い。
43	仙北市	角館東地区公民館	公民館活動事業として求められているものは何か、またそれに対する方針等について、学校、教育委員会等関係機関と協議し、場合によっては独自性を持ち、なおかつ連携をとりながら対応する必要がある。
44	美郷町	美郷町公民館	公民館の講座、事業等、周知不足がある。知らないから参加していない人が多いため、もっとよびかけをしたい。親は忙しい人が多いが、親子交流を求めている人も多いので、参加しやすい環境づくりを工夫しながら続けていきたい。
45	横手市	中央公民館	『公民館』という存在そのものが薄れてきており、塾や部活・スポ少など、時間のない生活となってきた子どもたちであるが、その原因のひとつは、保護者(親はもちろん祖父母など保育の役割の者)が仕事などで時間がなく、またスポ少や部活は、特に親も一緒に活動しているため、それ以外に時間的に余裕がとれない状況に変化していると思う。 『公民館』の活動が、それ(部活やスポ少)以上に子どもや大人にも意味のあるものであれば、もっと参加したり、活用されてくると思う。 戦後に必要とされた生涯学習を推進する『公民館』の性質は、現代には必要とされていないのではないだろうか。情報が頻繁に流れている現在は、『公民館』に行かなくともどんどん自ら生涯学習を探求し、学ぶことができる状況にある。現在必要とされる『公民館』とは、最近少なくなっているコミュニティの場の提供ではないかと感じている。そのためにも、多くの方に参加いただける事業を企画運営していきたいと、強く感じた。 とにかく情報の提供手段を工夫していきたい。
46	横手市	朝倉公民館	児童・生徒、保護者が公民館に求めていることを知れて参考になった。これからの運営や講座の企画等に生かしていきたい。
47	横手市	浅舞公民館	教育委員会・公民館中心では予算や職員数の削減等があり、事業実施に限界があるのでNPOや民間団体の活動に期待したい。
48	横手市	増田公民館	公民館事業について感心があまりないように感じる。増田の場合は公民館事業にかわる地域センターがある。そこで、住民が主導になり事業展開するという新しい試みを展開している。予算は市からの委託で行われある程度自由に事業を展開することができる。そのような方法で、子

			<p>どもが興味を抱く事業展開をしていきたい。</p>
49	横手市	十文字公民館	<p>当公民館は、十文字文化センターの中にあり、十文字生涯学習センターの職員が事務等を担当している。そのため、市民には、ここが公民館だという意識はあまりないと思う。</p> <p>公民館と生涯学習センターを兼務していると、どちらも同じようなことをしているので、本当に二つとも必要なのかとの疑問をもつこともある。</p>
50	湯沢市	湯沢公民館	<p>公民館に行ったことがない理由を“時間が合わない”、“時間がない”ということだけでは片付けてはいけなと考えている。“特に用事がない”、“なじみがない”、そして“どこにあるか知らない”と回答した子どもたち、保護者が少なからずいるということに対し、正直、残念に思った。</p> <p>保護者の世代の“公民館”と、子どもたちの世代の“公民館”とでは、イメージはもちろん、実施されている事業等も含め大きく違ってきている。けれども実際に公民館に足を運ばせ、建物の中に入らせ、そして、“公民館が魅力のある施設である”ことを伝えられるような、そんな形に持っていけたならと感じる。</p> <p>“公民館”のPR、情報提供不足の感は残念ながら、まだまだ否めない。“公民館”に在籍する職員一人ひとりの意識向上をも含め、今一度、「“公民館”はこんな建物だよ、こんなことをしているよ」等々をしっかりと伝えていくことが必要と考える。そのうえで、今まで以上に、「生涯学習」・「社会教育」の推進を目指していきたいと考えている。</p>
51	湯沢市	稲川公民館	<p>全体的に県平均を下回る関心の低さ、事業への参加率である。もっと気軽に立ち寄れる場の提供と、周知が必要である。</p> <p>事業の企画についても幅広い年齢層の方が参加できる、地域の行事やボランティア活動などを取り入れ、親しみを持ってもらえるよう工夫したい。</p>
52	湯沢市	弁天公民館	<p>“完全嘱託職員化”となった各地区公民館。これまでの行政正職員がいたときとは大きく異なり、公民館を運営していくうえではもちろん、事業を実施するうえでも、幾多の課題を抱えていくことになるのではないかも感じている。</p> <p>しかし、“地区よりの支援”はこれまで以上に得られるだろうもの、そう信じている。</p> <p>これからは、湯沢公民館(湯沢生涯学習センター)よりの指導・協力はもちろん、公民館と住民が一体となって、“地区公民館”を築いていけたならと考えている。</p>

53	羽後町	中央公民館	職員1人が、3地区の公民館を担当していることもあり、今回の調査結果を受けてすぐに事業拡大をすることは難しいが、学校や地域との連携を図りながら公民館事業を進めていきたい。
54	羽後町	羽後町立三輪公民館	職員1人が、3地区の公民館を担当していることもあり、今回の調査結果を受けてすぐに事業拡大をすることは難しいが、学校や地域との連携を図りながら公民館事業を進めていきたい。
55	東成瀬村	東成瀬公民館	地域が必要とする活動については、ニーズ調査を踏まえ改めて検討する必要がある。加えて、周知の仕方を工夫していかなければならないと痛感した。